

岩見沢地区消防事務組合

# 消防 年報

2024



救助工作車Ⅱ型(令和5年9月 運用開始)

## ま え が き

この年報は、岩見沢地区消防事務組合の現況と消防業務に関する諸統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに当組合の消防事情を広く紹介するために編集したものです。

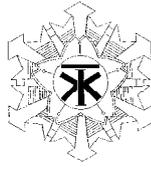
令和6年10月

岩見沢地区消防事務組合

消 防 本 部

# 2024・簡易統計

R6. 4. 1現在  
R5.12.31現在

組合位置	構成団体	人口・世帯数等	消防組織	当初予算
				
北海道岩見沢市 8条東10丁目2番地47  東経141度46分 北緯 43度12分	岩 見 沢 市  月 形 町	人 口 77, 721人 世 帯 数 42, 137世帯 管 轄 面 積 631. 42 km <sup>2</sup>	組合議会議員 9人 管理者 岩見沢市長 副管理者 月形町長 監査委員 2人 公平委員 3人	一 般 会 計 予 算 1, 539, 817千円

署所等	消防職員	消防団員	消防車両	消防水利
				
消防本部 1 消防署 1 支 署 3 出 張 所 3 分 遣 所 1	1 条例定数 148人 1 現 員 144人 3 平均年齢 41歳9ヶ月 1 平均勤続年数 18年5ヶ月	1 条例定数 570人 1 現 員 457人 3 平均年齢 45歳4ヶ月 1 平均勤続年数 14年2ヶ月	ポンプ・水槽車 21台 積載車 25台 化学車 1台 救急車 6台 梯子車 1台 救助工作車 1台 その他 18台	消 火 栓 1, 007基 防 火 水 槽 165基

危険物施設	火災件数等	出火原因	火災による死傷者	火災による損害見積額
				
危険物施設 453件 (内訳) 貯蔵所 345件 取扱所 108件	火災件数 27件 うち 建 物 10件 林 野 0件 車 両 8件 船舶・航空機 0件 その他 9件	1位 たばこ 5件 2位 排気管 3件	死 者 1人 負 傷 者 2人	損害見積額 19, 450千円

焼損面積	救 急	救急事故種別	救助	消防協力団体等
				
床面積 140(m <sup>2</sup> ) 表面積 2(m <sup>2</sup> ) 林 野 0(a)	出動件数 4, 326件 搬送人員 3, 711人	急 病 2, 711件 一般負傷 612件 交通事故 191件 労働災害 46件 火 災 61件 自損行為 39件 他 666件	出動件数 148件 救出人員 51人	危険物安全協会 1 火防協会 1 防火委員会 1 (・幼年消防クラブ 12) (・少年消防クラブ 2)

# 目 次

## 総務編

組合の位置と地勢	1
消防本部・各署所外観	2
組合を構成する団体の状況	3
組合消防のあゆみ	4
歴代役職者	12
消防表彰	15
消防組織	17
消防団組織	18
岩見沢地区消防事務組合議会議員名簿	19
消防職員の現況	19
消防職員の勤続年数現況	20
消防職員の年齢構成	20
消防職員の免許等取得状況	21
消防職員・団員の学校教育 及び研修状況	22
消防職員・団員数の推移	23
消防職員・団員1人当たりの面積・ 人口・世帯数	23
令和6年度当初予算	24
令和6年度団体別当初予算	24
いわみざわ消防フェア・ 旧消防フェスティバルの実施状況	25

## 警防編

消防機械等及び消防水利の設置状況	26
消防団の現況	27
消防団員の年額報酬の現況	28
消防団員の出動報酬の現況	28

## 予防編

指定防火対象物査察実施状況	29
指定防火対象物査察指導状況	30
中高層建築物状況	31
防火管理者選任及び消防計画届出状況	32
建築物同意事務状況	34
各種届出状況	35
消防協力団体	36
幼年・少年消防クラブ状況	36
岩見沢地区危険物安全協会 岩見沢市火防協会・岩見沢地区防火委員会 設立趣旨及び事業内容	37

火災等出動状況	38
火災状況	38
時間別火災件数	39
曜日別火災件数	39
四季別火災件数	39
四季別損害額	39
月別火災発生状況	40
過去5年間の火災の推移	42
過去5年間の出火原因の推移	44
危険物製造所等設置状況	45
危険物製造所等の許認可等状況	45
危険物関係各種届出状況	46
住宅用火災警報器の普及状況	47
住宅用火災警報器設置届出状況	47
事業所等での消防訓練等の実施状況	48
防火対象物定期点検及び 防災管理点検の報告状況	48

## 救急救助編

月別の救急出動状況	49
時間別救急出動件数	50
曜日別救急出動件数	50
事故種別救急出動割合	50
出動場所別救急出動状況	51
過去5年間の救急出動推移	51
傷病程度別の搬送人員状況	52
年齢区分別の搬送人員状況	52
救急隊員が行った応急処置件数	53
急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況	54
救助事故種別出動件数	55
救助活動件数・救出人員数調	55
救急講習会の実施状況	56

## 通信編

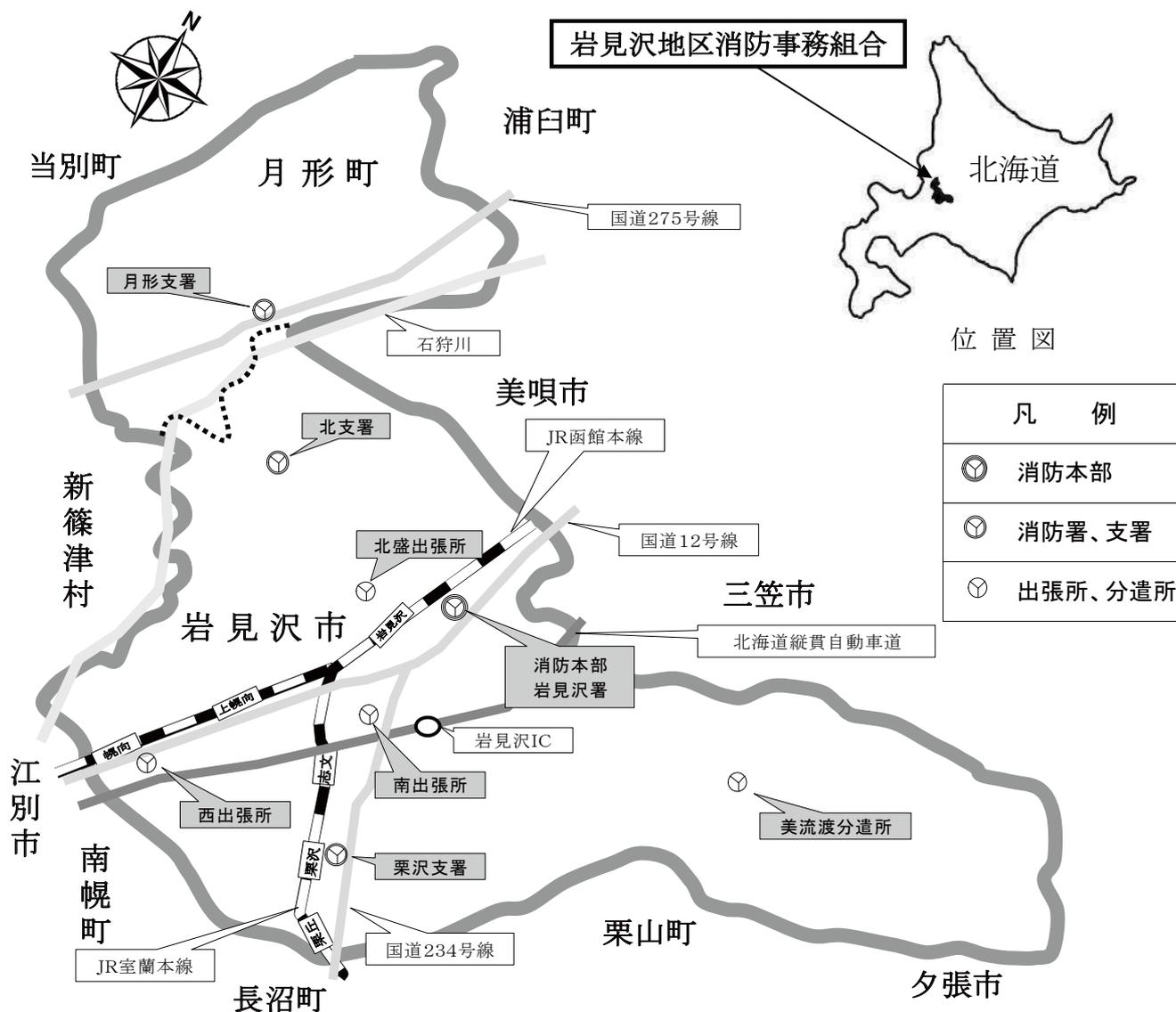
消防無線のデジタル化運用について	57
Net119・メール119登録状況	58
119番受報数の現況	59
消防通信指令システム系統図	60

# 總務編

## 組合の位置と地勢

岩見沢地区消防事務組合は、昭和47年4月1日に設立し、岩見沢市、栗沢町、月形町及び北村の1市2町1村で組織されました。その後、平成18年3月27日に栗沢町と北村が岩見沢市に編入合併され、現在は1市1町で構成されています。

本部の位置は、東経141度46分、北緯43度12分、組合地形は、石狩平野に広がる緩傾斜地帯で、北は浦臼町、東は美唄市・三笠市、南は夕張市・栗山町に接し、周囲は広大な山地と美しい自然に恵まれています。



## 消防本部・各署所一覧

令和6年4月1日現在

名 称	所在地	建物延面積 (㎡)	土地面積 (㎡)
消防本部・岩見沢消防署	8条東10丁目2番地47	4,455.08	6,600.00
北盛出張所	北本町西2丁目1番地	177.52	930.00
南出張所	南町8条4丁目5番11号	296.00	1,046.21
西出張所	中幌向町71番地7	321.78	2,580.80
美流渡分遣所	栗沢町美流渡栄町93番地2	616.80	1,043.63
栗沢支署	栗沢町東本町19番地	706.52	1,135.83
北支署	北村赤川586番地2	417.43	625.00
月形支署	月形町1047番地13	766.76	4,043.42



消防本部・岩見沢消防署



北盛出張所



南出張所



西出張所



美流渡分遣所



栗沢支署



北支署



月形支署

## 組合を構成する団体の状況

令和6年4月1日現在

市町村名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km <sup>2</sup> )	市町長名
岩見沢市	74,930	40,571	481.02	市長 松野 哲
月形町	2,791	1,566	150.40	町長 上坂 隆一
合計	77,721	42,137	631.42	



### 岩見沢市

明治17年、岩見沢村として誕生。明治39年には町制施行、昭和18年には市に昇格。北海道の中心部に位置し、交通の要衝として発展した。

明治の初期、幌内煤田（炭鉱）開発のため札幌～幌内間の道路開削が始められ、工事に従事する者のための休泊所が設けられた。ここで浴（ゆあみ）をし疲れを癒したことから「浴澤（ゆあみさわ）」と称され、後に転化して「岩見澤（いわみざわ）」となったといわれている。

平成18年3月27日、市町村合併により栗沢町、北村が編入された。



### 月形町

明治14年、北海道最初の監獄となる「樺戸集治監（かばとしゅうちかん）～後に樺戸監獄と改称」の設置により、北海道空知管内第1号の村として誕生。昭和28年には町制が施行された。

「樺戸集治監」に収容された国事犯や凶悪犯たちは道路開削など道央開拓の任にあたるという特異な開拓の歴史を持つ。町名は、集治監の初代典獄である月形潔（つきがたきよし）の姓に由来する。

## 組合消防のあゆみ

昭和47年	4月 1日	岩見沢地区消防事務組合発足 (岩見沢市、栗沢町、月形町、北村の広域消防体制) 職員7人増員し、総員106人
	5月 11日	消防操法の基準制定
	7月 20日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	8月 1日	北海道消防操法訓練大会 岩見沢消防団第10分団 小型動力ポンプ操法の部優勝
	9月 5日	岩見沢署、消防ポンプ自動車寄贈(日本損害保険協会)
	20日	消防本部、新庁舎竣工(延面積1,773㎡ 工事費101,000千円)
	26日	岩見沢署、連絡車配備
	12月 4日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	7日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	15日	北分遣所、庁舎竣工(延面積333.9㎡ 工事費17,997千円)
昭和48年	1月 21日	岩見沢市2条西3丁目繁華街で火災(焼損棟数、4棟6戸)
	30日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	3月 26日	岩見沢署、救急自動車寄贈(日本自動車工業会、3B型)
	31日	栗沢支署、庁舎竣工(延面積634.39㎡ 工事費33,082千円)
	4月 1日	防火管理規程を制定 職員12人増員し、総員118人
	8月 18日	岩見沢署、オルゴール寄贈(山田治夫氏)
	11月 12日	月形出張所、水槽付消防ポンプ自動車配備
	22日	北海道消防協会会長に倉増新八郎団長就任
	12月 10日	北分遣所、水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和49年	1月 10日	日本消防協会副会長に倉増新八郎団長就任
	30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	4月 1日	職員3人増員し、総員121人 予防事務規程を制定 月形出張所が月形支署、北分遣所が北支署となる
	7月 5日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	9日	岩見沢署、指揮車配備
	12日	第26回北海道消防大会を岩見沢市で開催(岩見沢スポーツセンター)
	20日	岩見沢市2条西3丁目繁華街で火災(焼損面積1,188㎡)
	8月 14日	岩見沢署、照明車配備
	11月 1日	岩見沢署、当直隊長を消防司令とし、2人配備
	12月 24日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
	27日	月形支署、指揮車寄贈(元消防団長、福居氏)
	28日	岩見沢署、北盛出張所開設(10人配備)
昭和50年	1月 1日	職員1人増員し、総員122人
	3月 4日	岩見沢署、消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車配備
	4月 1日	職員5人増員し、総員127人
	5月 28日	北支署、指揮車配備
	8月 23日	台風6号で集中豪雨により被害甚大 (降水量、岩見沢地区199mm、栗沢地区180mm、月形地区 床上浸水212戸、 床下浸水74戸、北地区 床上浸水432戸、床下浸水329戸、避難者1,032人)
	9月 11日	岩見沢署、広報車寄贈 栗沢支署、指揮車寄贈(空知信用金庫)
	23日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	27日	北支署、救助用3人乗ボート寄贈(月形ライオンズクラブ)
	28日	岩見沢署、大型水槽車配備
	12月 5日	栗沢、月形、北支署消防無線電話機(超短波基地局)設置
昭和51年	1月 16日	栗沢支署、美流渡分遣所庁舎竣工(延面積616.80㎡ 工事費78,100千円)
	2月 14日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

	4月 1日	全道の広域消防組合の数44組合184市町村に達する
	7月 15日	全国消防長会広報常任委員会を岩見沢万景閣で開催
	～16日	(東京消防庁 村山茂直総監来岩)
	8月 21日	岩見沢署、救助艇寄贈(岩見沢ライオンズクラブ)
	9月 30日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	11月 29日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	12月 2日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
昭和52年	9月 25日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月 15日	岩見沢消防80周年記念式典及び記念誌刊行
	12月 7日	岩見沢署、救急自動車寄贈(日本損害保険協会、3B型)
昭和53年	4月 1日	岩見沢署、幌向分遣所開設 職員2人増員し、総員129人
	7月 10日	北消防団、小型動力ポンプ2台配備
	20日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ配備
	9月 8日	岩見沢市夜間急病センター開所
	20日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	22日	栗沢支署美流渡分遣所に消防無線電話機(超短波)設置
	10月 31日	月形支署、大型水槽車配備
	12月 28日	月形支署、救急自動車寄贈(日本損害保険協会、2B型)
昭和54年	8月 8日	北消防団、小型動力ポンプ配備
	10月 11日	岩見沢署、消防無線電話機(超短波共通波)設置
	11月 13日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	30日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
昭和55年	6月 7日	岩見沢署、指導査察車寄贈(岩見沢ライオンズクラブ)
	11月 4日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	12月 19日	北支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
	22日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
		岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	26日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
昭和56年	2月 2日	月形支署、無線式サイレン吹鳴装置設置(札比内)
	2月 11日	岩見沢消防団、日本消防協会表彰旗受章
	4月 1日	職員4人増員し、総員133人
	8月 3日	台風12号による集中豪雨、降水量423mm史上最高示す。
	～4日	北村、岩見沢市幌向、栗沢町方面避難(避難者、岩見沢1,600余人)
	9月 17日	岩見沢署、消防無線電話機(超短波救急波)複信方式に変更
	10月 1日	防火対象物にかかる防火基準適合表示、公表制度実施要綱を定める
	12月 7日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	17日	北支署、救助用6人乗ボート寄贈(ライオンズクラブ国際協会)
昭和57年	4月 1日	岩見沢署、南出張所開設(面積296.0㎡ 工事費65,100千円) 職員7人増員し、総員140人
	6月 8日	岩見沢署、連絡車配備
	8月 1日	岩見沢地区少年婦人防火委員会設立
	18日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	26日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	10月 26日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
昭和58年	4月 19日	岩見沢署、救助工作車寄贈(日本損害保険協会)
	7月 16日	北消防団、小型動力ポンプ配備
	29日	北海道消防操法訓練大会で栗沢消防団が小型ポンプ操法の部で優勝
	10月 18日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	11月 24日	岩見沢署、救急自動車配備(3B型)
	26日	岩見沢署、南出張所に救急自動車配備

昭和59年	2月17日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	4月1日	職員3人(岩見沢署)増員し、総員143人
	9月21日	岩見沢署、広報車寄贈(日本消防協会)
	22日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
昭和60年	4月18日	北支署、ホース乾燥塔新設
	30日	ボート転覆事故(岩見沢大正池)高校生4人死亡
	8月30日	栗沢支署、指揮車配備
	10月17日	北支署、消防庁舎物品庫増築(増築面積21.29m <sup>2</sup> 工事費2,480千円)
	29日	栗沢支署、サイレン吹鳴無線制御装置設置
	12月14日	北消防団第2分団機械器具置場新築(面積39.60m <sup>2</sup> 工事費4,450千円)
	24日	岩見沢消防団第17分団機械器具置場兼団員詰所新築(面積215.30m <sup>2</sup> 工事費24,100千円)
昭和61年	4月30日	水難事故(幾春別川)幼女1人不明
	6月5日	岩見沢署、レスキューツール配備
	10月8日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	15日	岩見沢署、テレホンガイド装置設置(TEL24-0119)
	25日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	12月30日	岩見沢署、総合指令台設置
昭和62年	1月1日	岩見沢署、消防情報地図検索装置設置
	8月21日	全国消防救助技術大会(千葉市) 岩見沢署 竹本消防士、はしご登はんに出場し入賞
	29日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	9月7日	月形支署、消防ポンプ自動車配備
	10月28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月26日	岩見沢署、指揮車配備
	12月1日	北消防団第4分団機械器具置場新築(面積39.60m <sup>2</sup> 工事費6,000千円)
	23日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
昭和63年	2月9日	岩見沢署、救助資機材配備
	24日	電話集中監視システム設置
	3月30日	組合管内無線中継所設置
	4月1日	職員2人(栗沢支署1人、北支署1人)増員し、総員145人
	6月15日	栗沢支署、救急自動車配備(2B型)
	17日	月形支署、指令車配備
	9月12日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	25日	岩見沢署、救急自動車配備(2B型)
	28日	岩見沢署、救助資機材配備
		北支署、庁舎増改築(事務室23.04m <sup>2</sup> 工事費10,450千円)
		北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	29日	北消防団第3分団機械器具置場新築(面積37.44m <sup>2</sup> 工事費6,380千円)
		北消防団第5分団機械器具置場新築(面積37.44m <sup>2</sup> 工事費6,470千円)
	11月7日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	26日	岩見沢署、化学消防ポンプ自動車配備
	12月24日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成元年	5月25日	全国消防長会広報防災委員会常任委員会及び第18回広報委員会を岩見沢観光ホテルで開催(自治省消防庁福沢洋治理事官 外46人来岩)
	6月19日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	8月25日	全国消防救助技術大会(名古屋市) 岩見沢署 館・平野消防士長、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月8日	北消防団第6分団機械器具置場新築(面積37.44m <sup>2</sup> 工事費7,982千円)
	10月7日	岩見沢署、無停電電源装置設置
	24日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備

	30日	岩見沢署、車庫排気ガス排出装置設置
	31日	北支署、車庫改築
	11月27日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	12月4日	上幌向コミュニティー消防センター新築 (面積79.49㎡ 工事費10,351千円)
	14日	月形支署、庁舎建設用地購入
	16日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成2年	2月3日	北支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	3月10日	岩見沢消防署西出張所開設(面積277.60㎡ 工事費86,664千円)
	29日	栗沢支署、サイレン遠隔制御受信機設置
	5月30日	栗沢支署、美流渡分遣所・万字分遣所サイレン設置
	10月8日	北支署、2階会議室改築
	29日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	30日	月形支署、広報用放送設備、消防・救急指令装置、モーターサイレン設置
	11月14日	月形支署、庁舎新築開設(面積766.76㎡ 工事費200,442千円)
	30日	岩見沢消防団第14分団機械器具置場新築(面積39.74㎡ 工事費5,459千円) 岩見沢消防団第4分団サイレン塔設置
平成3年	3月14日	岩見沢署、車庫増築(面積66.47㎡ 工事費18,725千円)
	20日	岩見沢署、車庫2棟新築(6東1 45.00㎡ 6東4 50.00㎡ 工事費22,570千円)
	4月1日	職員3人(栗沢支署2人、月形支署1人)増員し、総員148人
	6月7日	上幌向婦人防火クラブに日本消防協会より防火広報車寄贈
	7月26日	北海道消防操法訓練大会(消防学校)岩見沢消防団ポンプ車操法の部準優勝
	11月5日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	22日	月形支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	12月20日	岩見沢署、はしご付消防自動車配備
平成4年	3月4日	岩見沢消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
	5月28日	岩見沢地区危険物安全協会20周年記念式典(ホテルサンプラザ)
	7月7日	組合設立20周年記念演習(9条東みなみ公園)、式典(岩見沢スポーツセンター)
	21日	月形支署、折りたたみ式アルミボード配備
	8月28日	全国消防救助技術大会(千葉市) 岩見沢署 竹本消防士長・藤原消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月30日	岩見沢消防団第15分団機械器具置場改修
	10月30日	岩見沢消防団第4分団待機室改修
	12月3日	岩見沢署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成5年	1月18日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	31日	北盛・南出張所自動車排気ガス排出装置設置
	3月22日	東出張所、自動車排気ガス排出装置設置
	4月1日	岩見沢消防団女性消防団員入団式(10人)
	7月2日	北支署、救助艇及びボートトレーラー配備
	8月23日	月形支署、日本赤十字社月形分区より救急自動車貸与
	10月8日	消防行政管理者研修(JICA研修員 8人)視察来庁
	18日	栗沢消防団、消防ポンプ自動車配備
	28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月15日	稔町コミュニティー消防センター新築(面積91.09㎡ 工事費17,000千円)
平成6年	2月15日	岩見沢署、消防指令装置設置
	18日	岩見沢署、指導査察車寄贈(岩見沢ロータリークラブ)
	8月12日	西川町コミュニティー消防センター新築(面積91.09㎡ 工事費18,150千円) サイレン吹鳴無線制御装置設置
	25日	全国消防救助技術大会(京都市) 岩見沢署 竹本消防士長・藤原消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月18日	栗沢支署、消防無線電話機(超短波基地局)設置

	27日	月形消防団第2分団詰所改築(156㎡の内63.5㎡改築 工事費7,745千円)
	10月14日	消防行政管理者研修(JICA研修員 8人)視察来庁
平成7年	2月3日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	22日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	3月24日	月形支署、月形消防団緊急伝達システム設置
	4月2日	栗沢消防団女性消防団員入団式(11人)
	9月6日	女性消防団員空知地方支部ブロック大会(北村) 194人
	11日	岩見沢署、救急自動車寄贈(北海道共済農業協同組合連合会)
	11月8日	消防行政管理者研修(JICA研修員 8人)視察来庁
	30日	北支署、消防無線電話機(超短波基地局)設置
平成8年	7月25日	北海道消防操法訓練大会、北消防団小型ポンプ操法の部 準優勝
	8月1日	月形消防団女性消防団員入団式(5人)
	9月30日	北消防団第6分団第1班機械器具置場新築 サイレン吹鳴無線制御装置設置(面積736㎡ 工事費12,368千円)
	10月8日	第23回全道消防職員意見発表大会道央地区予選会(岩見沢市)
	12月20日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成9年	7月6日	岩見沢消防公設100年記念行事 記念式典及び記念誌刊行
	7月6日	岩見沢消防記念碑移設(消防庁舎横)
	29~30日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(札幌市)
	9月26日	北支署、無線統制装置整備
	10月31日	栗沢支署、防火水槽整備(栗沢工業団地、ひばりが丘団地)
	12月25日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成10年	5月20日	岩見沢消防団、積載車配備
	28~29日	全国消防長会広報防災委員会(岩見沢市)
	8月7日	栗沢支署、消防指令車配備
	9月6日	月形消防公設100周年 記念式典・消防演習
	11月9日	岩見沢署、救急自動車配備
	12月25日	北支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成11年	3月5日	栗沢消防団、中谷団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都)
	4月10日	北支署、地図検索情報システム導入
	6月27日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	8月5日	岩見沢署、庁舎無線塔改修工事
	9月13日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	27日	月形支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成12年	2月9日	栗沢消防団、日本消防協会表彰旗受章 月形消防団、日本消防協会竿頭授受章
	3月8日	月形消防団、丸山団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都) 岩見沢地区消防事務組合消防本部・岩見沢消防団、消防庁長官表彰旗受章
	4月20日 ~27日	広域応援隊派遣(有珠山)
	7月27日	北海道消防操法訓練大会、栗沢消防団小型ポンプ操法の部で優勝
	9月13日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	18日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	25日	月形支署、通信指令卓整備
	10月19日	全国消防操法訓練大会、栗沢消防団出場(神奈川県横浜市)
	30日	栗沢支署、救急車寄贈(JA共済連)
	12月7日	栗沢支署消防庁舎増改築工事
	12月10日	JR岩見沢駅舎 全焼
平成13年	2月27日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	3月8日	月形消防団、消防庁長官表彰竿頭授受章
	8月23日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

	9月10日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	10月13日	消防本部・岩見沢署、庁舎屋上防水工事
	12月17日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
	21日	月形消防団、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成14年	1月21日	岩見沢署、北盛出張所に水槽付消防ポンプ自動車配備
	6月29日	岩見沢地区消防事務組合設立30周年記念演習(市役所駐車場)
	8月21日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	30日	北支署、指揮車配備
	9月1日	公設栗沢消防団100周年記念事業(式典・消防演習)
	11月8日	消防本部・岩見沢署、消防庁舎屋上防水改修工事
	12日	美流渡分遣所庁舎耐震改修工事
平成15年	7月24日	北海道消防操法訓練大会、月形消防団ポンプ車操法の部で優勝
	9月24日	岩見沢署、南出張所救急車配備(寄贈JA共済連)
	10月23日	全国消防長会広報防災委員会常任委員会(岩見沢市)
平成16年	1月30日	岩見沢署、救助工作車Ⅱ型配備
	2月24日	月形支署、広報車配備
	3月18日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	12月10日	岩見沢署、南出張所に水槽付消防ポンプ自動車配備
平成17年	2月10日	北消防団、日本消防協会表彰旗受章
	3月4日	北消防団、外崎団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都) 栗沢消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
	8月25日	全国消防救助技術大会(さいたま市) 岩見沢署 荒井消防士、ロープ登はんに出場し入賞 月形支署 辻・稲井消防士長、ロープ応用登はんに出場
	8月29日	岩見沢署、照明搬送車配備
	10月3日	月形支署、救急自動車配備(寄贈JA共済連)
	10月21日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	11月16日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
平成18年	3月2日	北消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
	3月27日	市町村合併(栗沢町及び北村が岩見沢市に編入)により組合の構成団体が岩見沢市、月形町の1市1町となる
	11月29日	栗沢支署美流渡分遣所、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成19年	1月26日	岩見沢署南出張所、消防ポンプ自動車配備
	10月26日	岩見沢署東出張所、消防ポンプ自動車配備
	12月26日	岩見沢署、救急自動車配備
平成20年	1月5日	月形消防公設110周年記念消防出初式
	4月1日	岩見沢消防団に栗沢消防団と北消防団が統合
	7月5日 ～11日	北海道洞爺湖サミット(7月7日～9日)開催にあたり、消防特別警戒のため人員及び車両等派遣
	8月31日	月形消防公設110周年記念消防演習
	11月21日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月27日	岩見沢署、災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型配備
平成21年	2月13日	月形消防団、日本消防協会表彰旗受章
	3月6日	月形消防団、消防庁長官表彰旗受章
	3月27日	岩見沢市水防団(北村地区、栗沢地区)廃止に伴い、岩見沢消防団の水防活動管轄区域が岩見沢市全域となる
	4月1日	岩見沢地区消防事務組合消防団協力事業所表示制度実施
	7月23日	北海道消防操法訓練大会、岩見沢消防団小型ポンプ操法の部で優勝
	8月20日	全国消防救助技術大会(横浜市) 岩見沢署 成田・吉田(光)消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月1日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

	12月 9日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型配備
平成22年	3月15日	岩見沢署、緊急通信指令装置設置
	3月30日	月形消防団、消防ポンプ自動車配備
	6月 1日	岩見沢署、救助艇配備
	9月22日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	9月25日	岩見沢署、指揮車配備 岩見沢署北盛出張所、消防ポンプ自動車配備
平成23年	10月25日	岩見沢署、救急自動車配備（寄贈 J A 共済連）
	3月16日	東日本大震災発生（3月11日）に伴い、宮城県石巻市に緊急消防援助隊（第二次派遣隊 救助隊）として人員及び車両等派遣
	～ 21日	
	4月 1日	上記震災に対し、宮城県石巻市に緊急消防援助隊（第七次派遣隊 救助隊）として人員及び車両等派遣
	～ 7日	
	4月 1日	岩見沢消防団、女性分団発足
	9月 8日	消防長 高橋広、救急功労者表彰受賞（東京都）
	11月 8日	災害発生時における災害関連機関と月形町の情報共有に関する協定調印
	11月12日	岩見沢署、東出張所に水槽付消防ポンプ自動車配備
平成24年	3月28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	6月20日	I F C A A 国際消防救助隊合同訓練（札幌市）
	～ 22日	緊急消防援助隊北海道合同訓練（札幌市）
	9月 9日	局地的な大雨により南利根別川が氾濫。南町・大和地区を中心とした市内全域各所で道路冠水や住宅浸水等の被害。
	～ 12日	（住宅被害：床上浸水7棟、床下浸水85棟 冠水被害：158.9ha）
	9月26日	岩見沢署、資機材搬送車配備
	10月 1日	岩見沢、月形119番通信業務一元化
	11月14日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成25年	2月28日	月形支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（C A F S）配備
	10月 3日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
	10月 5日	岩見沢市安全安心防災合同パレード
	10月11日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（苫小牧市）
	～ 12日	
	11月25日	消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京都）
平成26年	2月 4日	岩見沢署、指導査察車配備
	2月12日	北支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（C A F S）配備
	10月29日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
	10月30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
	11月27日	岩見沢署、人員搬送車配備
平成27年	9月30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
	10月22日	岩見沢署西出張所、救急自動車配備（寄贈 J A 共済連）
	10月28日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（岩手県）
	～ 29日	
	11月13日	第5回 緊急消防援助隊全国合同訓練（千葉県）
	～ 14日	
	12月11日	岩見沢署栗沢支署、救急自動車配備
平成28年	4月 1日	消防救急デジタル無線運用開始
	9月29日	岩見沢署南出張所、救急自動車配備
	11月25日	月形支署、消防団サイレン遠隔制御装置設置
	12月 1日	岩見沢署西出張所、車庫新築（面積44.18㎡ 工事費13,472千円）
平成29年	7月31日	消防本部・岩見沢署、新消防庁舎竣工（面積4,455.08㎡ 工事費2,317,075千円）
	9月 4日	岩見沢署、救急自動車配備
	9月 5日	消防本部・岩見沢署、新消防庁舎運用開始
	9月 5日	高機能消防指令センター運用開始
	9月 5日	岩見沢署東出張所、閉鎖（平成30年度 解体）

	10月16日	岩見沢地区消防事務組合新消防庁舎開所式開催
	12月15日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成30年	1月5日	月形消防公設120周年記念消防出初式
	2月28日	岩見沢署、救助資機材整備
	9月2日	月形消防公設120周年記念消防演習
	9月6日	北海道胆振東部地震発生に伴い、厚真町に北海道広域消防相互応援協定にかかる応援隊(道央ブロック第一次派遣隊 後方支援隊)として人員及び車両等派遣
	～8日	
	11月9日	岩見沢消防団第21分団器具置場新築移設工事(面積42.02㎡ 工事費7,182千円)
	11月27日	岩見沢消防団、消防ポンプ自動車1台配備
平成31年	1月23日	西出張所、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(CAFS)配備
	3月18日	岩見沢消防団、消防ポンプ自動車1台配備(無償貸付 総務省消防庁)
	4月19日	夕張市石炭博物館火災発生(4月18日)に伴い、夕張市に北海道広域消防相互応援協定にかかる応援隊(第一次派遣隊)として人員及び車両等派遣
	～20日	上記火災に対し、4月22日～5月5日の間(第二、四、七、十二、十七次派遣隊)人員及び車両等派遣
令和元年	6月4日	株式会社オーツカよりドローン寄贈(設立50周年記念)
	7月1日	有限会社北央防災設備よりテント寄贈(設立30周年記念)
	8月25日	全国消防救助技術大会(岡山県岡山市) 岩見沢署 黒田・山下消防士長、ロープ応用登はんに出場 岩見沢署 下山消防士、はしご登はんに出場し入賞 月形支署 呉羽・岡田消防士長、浅井消防士、ほふく救出に出場
	11月1日	岩見沢消防団、北海道消防協会表彰旗受章
	12月14日	岩見沢署、はしご付消防自動車配備
令和2年	1月28日	新型コロナウイルス感染者が道内で初めて確認される。(感染拡大防止のため各種行事等の開催が中止となる。)
	5月1日	多言語通訳サービス運用開始
	7月1日	Net119運用開始
	7月13日	岩見沢署南出張所、庁舎屋上防水工事
令和3年	3月5日	岩見沢署、資機材搬送車配備
	4月1日	美流渡分遣所の所管が栗沢支署から岩見沢署消防課へ変更される。
	6月3日	岩見沢市開催の第73回北海道消防大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる。
	7月23日	東京2020オリンピック、パラリンピック競技大会がコロナ禍で開幕
	12月17日	岩見沢署、救急自動車配備
令和4年	1月18日	岩見沢消防団、広報車1台配備(寄贈 公益社団法人日本消防協会)
	2月16日	月形支署、救急自動車配備
	7月7日	全国消防長会北海道支部警防委員会(岩見沢市)
	8月26日	全国消防救助技術大会(東京都立川市) 岩見沢署 鈴木消防士、はしご登はんに出場し入賞
	11月10日	全国消防長会警防防災委員会(岩見沢市)
	12月1日	北海道損害保険事務所よりドローン寄贈(設立50周年記念)
令和5年	3月3日	岩見沢消防団、日本消防協会特別表彰まとい受章
	5月16日	岩見沢地区危険物安全協会50周年記念式典(ホテルサンプラザ)、テント寄贈
	9月19日	岩見沢署、救助工作車Ⅱ型配備
	12月21日	有限会社北央防災設備より水力換気ノズルCOBRA寄贈(設立35周年記念)
令和6年	5月30日	第8回予防業務優良事例表彰、優秀賞受賞
	8月23日	全国消防救助技術大会(千葉県市原市) 岩見沢署 田中消防士、はしご登はんに出場

## 歴代役職者

### 管理者

令和6年7月1日現在

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初代	国兼孝治	S47. 4. 1	
2	第2代	能勢邦之	H2. 10. 20	
3	第3代	渡辺孝一	H14. 11. 12	
4	第4代	松野哲	H24. 9. 9	

### 消防長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第6代	後藤田章二	S47. 4. 1	
2	第7代	珍田卓幸	S48. 6. 1	
3	第8代	杉浦公亮	S49. 12. 21	
4	第9代	谷内三郎	S53. 12. 28	
5	第10代	藤本良雄	S58. 6. 1	
6	第11代	荒川清	S59. 6. 1	S60. 12. 1~H61. 3. 31署長兼務
7	第12代	坂本和芳	S62. 10. 1	
8	第13代	藤原幸彦	H2. 4. 1	
9	第14代	嵐幸雄	H6. 4. 1	
10	第15代	菅田征夫	H7. 10. 1	
11	第16代	松尾秀壽	H12. 4. 1	
12	第17代	浜本猛	H13. 4. 1	H13. 4. 1~H15. 3. 31署長兼務
13	第18代	鈴木浩之	H15. 4. 1	
14	第19代	千葉勝美	H20. 4. 1	
15	第20代	高橋広	H21. 4. 1	
16	第21代	安田勉	H24. 4. 1	
17	第22代	水上勝則	H26. 4. 1	
18	第23代	北敏之	H27. 4. 1	
19	第24代	館守	H31. 4. 1	
20	第25代	渡辺正勝	R4. 4. 1	

### 消防署長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第3代	佐藤吉松	S47. 4. 1	
2	第4代	斉藤友一	S47. 6. 1	
3	第5代	田公典義	S59. 6. 1	
4	第6代	出口正敏	S60. 4. 1	
5	第7代	荒川清	S60. 12. 1	
6	第8代	木村鉄五郎	S61. 4. 1	
7	第9代	中山昇	H9. 4. 1	
8	第10代	浜本猛	H10. 4. 1	
9	第11代	道下榮司	H15. 4. 1	
10	第12代	千葉勝美	H17. 4. 1	
11	第13代	高橋広	H20. 4. 1	
12	第14代	安田勉	H21. 4. 1	
13	第15代	水上勝則	H24. 4. 1	
14	第16代	北敏之	H26. 4. 1	
15	第17代	館守	H27. 4. 1	
16	第18代	渡辺正勝	H31. 4. 1	
17	第19代	竹中雅文	R4. 4. 1	
18	第20代	藤原弘和	R6. 4. 1	

## 議長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初代	笠原 喜平治	S 47. 4. 1	
2	第2代	石尾 源治	S 48. 7. 30	
3	第3代	松下 久信	S 50. 5. 27	
4	第4代	安彦 昭	S 54. 5. 29	
5	第5代	森本 和男	S 56. 3. 25	
6	第6代	宮越 善三	S 58. 5. 13	
7	第7代	滝本 常吉	S 60. 4. 11	
8	第8代	辰田 義太郎	S 61. 12. 22	
9	第9代	細岡 典昭	S 62. 6. 23	
10	第10代	中川 数男	H 1. 6. 30	
11	第11代	瀬能 晃	H 3. 6. 10	
12	第12代	安藤 富夫	H 5. 6. 11	
13	第13代	中田 猛	H 7. 6. 1	
14	第14代	高橋 義明	H 9. 5. 19	
15	第15代	富岡 潤美	H 11. 6. 4	
16	第16代	村上 勝則	H 13. 6. 14	
17	第17代	仁志 紘一	H 15. 6. 6	
18	第18代	山本 賢一	H 17. 6. 29	
19	第19代	鎌田 誠	H 19. 6. 21	
20	第20代	伊澤 幸信	H 21. 6. 18	
21	第21代	笹島 清一	H 23. 6. 23	
22	第22代	野尻 清	H 25. 6. 26	
23	第23代	太田 博之	H 27. 7. 7	
24	第24代	石黒 武美	H 29. 6. 29	
25	第25代	峯 泰教	R 1. 6. 27	
26	第26代	豊岡 義博	R 3. 6. 3	
27	第27代	平野 義文	R 5. 6. 15	

## 副議長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初代	箕田 重一	S 47. 4. 1	
2	第2代	山本 光義	S 50. 5. 27	
3	第3代	武田 貞光	S 54. 5. 29	
4	第4代	斉藤 孝敏	S 58. 5. 30	
5	第5代	今 久男	S 62. 6. 23	
6	第6代	羽根 久生	H 1. 6. 30	
7	第7代	鎌田 賢一	H 3. 6. 10	
8	第8代	町田 一雄	H 5. 6. 11	
9	第9代	小野 英夫	H 7. 6. 1	
10	第10代	坂本 昇	H 9. 6. 23	
11	第11代	小友 寛光	H 11. 6. 4	
12	第12代	吉田 義一	H 13. 6. 14	
13	第13代	尾田 則幸	H 15. 6. 6	
14	第14代	安藤 勝芳	H 17. 6. 29	
15	第15代	安藤 勝芳	H 18. 5. 16	
16	第16代	宮元 哲夫	H 19. 6. 21	
17	第17代	金澤 博	H 23. 6. 23	
18	第18代	大釜 登	H 27. 7. 7	
19	第19代	堀 広一	R 1. 6. 27	
20	第20代	東出 善幸	R 5. 6. 15	

### 岩見沢消防団長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第2代	倉増 新八郎	S 47. 4. 1	
2	第3代	吉本 利之	S 57. 4. 1	
3	第4代	坂上 長蔵	S 59. 4. 1	
4	第5代	柿本 良三	S 62. 4. 1	
5	第6代	平木 忠男	H 8. 4. 1	
6	第7代	坂尾 尚哉	H 11. 4. 1	
7	第8代	大久保 恒夫	H 17. 4. 1	
8	第9代	松井 英雄	H 23. 4. 1	
9	第10代	仁志 正樹	H 30. 7. 1	

### 月形消防団長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第5代	福居 憲吾	S 47. 4. 1	
2	第6代	桑原 孝一	S 55. 6. 27	
3	第7代	丸山 秀郎	H 3. 4. 1	
4	第8代	亀倉 勝幸	H 12. 4. 1	
5	第9代	門脇 芳夫	H 17. 4. 1	
6	第10代	山田 啓一	H 28. 4. 1	
7	第11代	中嶋 雅義	H 31. 4. 1	
8	第12代	渡邊 淳博	R 4. 4. 1	

### 旧栗沢消防団長

H 20. 4. 1 岩見沢消防団と統合

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第3代	渡辺 正信	S 47. 4. 1	
2	第4代	吉田 定男	S 53. 9. 1	
3	第5代	早川 二三四	S 59. 4. 1	
4	第6代	中谷 茂	H 5. 9. 1	
5	第7代	西村 康德	H 16. 4. 1	
6	第8代	荒井 弘	H 19. 4. 1	

### 旧北消防団長

H 20. 4. 1 岩見沢消防団と統合

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第2代	渡辺 一一	S 47. 4. 1	
2	第3代	岩田 秀夫	S 59. 2. 1	
3	第4代	外崎 善一	H 7. 4. 1	
4	第5代	鈴内 拓雄	H 18. 4. 1	

消 防 表 彰

褒 章

令和6年7月1日現在

氏名	区分 (年)	所属
倉増新八郎	藍綬褒章 (昭42)	岩見沢
	紺綬褒章 (昭48)	
	藍綬褒章 (昭48)	
福居 憲吾	紺綬褒章 (昭50)	月 形
	藍綬褒章 (昭55)	
渡辺 一一	藍綬褒章 (昭53)	北
桑原 孝一	藍綬褒章 (平 3)	月 形

叙 位・叙 勲

氏名	区分 (年)	所属
深見松太郎	勲五等双光旭日章 (昭40)	岩見沢
	従五位 (昭50)	
村上 源一	勲五等瑞宝章 (昭47)	"
	従五位 (平 6)	
米川富三郎	勲六等单光旭日章 (昭47)	栗 沢
平田 常雄	勲六等单光旭日章 (昭48)	"
大友 信夫	勲六等瑞宝章 (昭49)	岩見沢
	正七位 (昭52)	
長谷川栄吉	勲七等瑞宝章 (昭49)	"
藤林 政蔵	勲七等瑞宝章 (昭49)	"
菊谷 晋	勲七等青色桐葉章 (昭50)	"
笹木 光則	勲七等青色桐葉章 (昭50)	月 形
土谷 久一	勲六等单光旭日章 (昭50)	栗 沢
加藤 三雄	勲六等瑞宝章 (昭51)	岩見沢
河合 耕吉	勲六等瑞宝章 (昭52)	栗 沢
大山 直吉	勲六等瑞宝章 (昭52)	岩見沢
高野 寅治	勲七等瑞宝章 (昭52)	"
渡辺 正信	勲五等瑞宝章 (昭53)	栗 沢
磯野 芳雄	勲六等瑞宝章 (昭53)	岩見沢
沢田 政市	勲七等瑞宝章 (昭54)	"
中村 武雄	勲四等瑞宝章 (昭54)	"
	従五位 (平 9)	
小林 林蔵	勲六等瑞宝章 (昭54)	"
橋本 岩雄	勲七等青色桐葉章 (昭55)	"
及川 孝志	勲六等单光旭日章 (昭55)	栗 沢
荒井 鴻二	勲七等青色桐葉章 (昭55)	岩見沢
杉田太三郎	勲七等青色桐葉章 (昭56)	"
倉増新八郎	勲三等瑞宝章 (昭56)	"
	従四位 (昭60)	
辻 繁定	勲六等瑞宝章 (昭56)	"
鎌田 春一	勲七等青色桐葉章 (昭56)	北
佐藤 吉松	勲五等瑞宝章 (昭58)	岩見沢
	正七位 (平13)	
吉本 利之	勲五等瑞宝章 (昭59)	"

氏名	区分 (年)	所属
山崎 庄一	勲六等单光旭日章 (昭59)	栗 沢
馬淵 政之	勲六等单光旭日章 (昭59)	岩見沢
渡辺 一一	勲五等瑞宝章 (昭60)	北
	従六位 (昭61)	
福居 憲吾	勲五等瑞宝章 (昭60)	月 形
西塚 芳一	勲六等瑞宝章 (昭60)	栗 沢
坂上 長蔵	勲五等瑞宝章 (昭62)	岩見沢
大杉 讓賢	勲七等瑞宝章 (昭63)	月 形
溝口 藤一	勲六等瑞宝章 (平元)	栗 沢
橋本 数雄	勲六等瑞宝章 (平 3)	北
	勲五等瑞宝章 (平 3)	
田公 典義	勲五等瑞宝章 (平 3)	岩見沢
	正七位 (平 3)	
溝口 武雄	勲六等瑞宝章 (平 4)	"
佐藤幸治郎	勲六等瑞宝章 (平 5)	"
戸田 勇	勲六等单光旭日章 (平 5)	北
穴田 清吉	勲六等单光旭日章 (平 7)	岩見沢
	正七位 (平18)	
竹内清一郎	勲六等单光旭日章 (平 8)	栗 沢
岩田 秀夫	勲五等瑞宝章 (平 9)	北
	従六位 (平24)	
山田 規	勲六等单光旭日章 (平10)	月 形
桑原 孝一	勲五等双光旭日章 (平11)	"
窪田 和夫	勲六等单光旭日章 (平11)	岩見沢
柿本 良三	勲六等瑞宝章 (平13)	"
斉藤 友一	勲五等双光旭日章 (平14)	"
	正六位 (平23)	
丸山 秀郎	瑞宝双光章 (平15)	月 形
吉田 定男	瑞宝单光章 (平15)	栗 沢
早川二三四	勲五等瑞宝章 (平15)	"
吉井 勝治	瑞宝单光章 (平16)	岩見沢
	従七位 (平16)	
小松 精一	瑞宝单光章 (平16)	栗 沢
大澤 長命	瑞宝单光章 (平16)	岩見沢
	従七位 (平18)	
阿波加深明	瑞宝单光章 (平16)	"
	従七位 (平16)	
水間 緑朗	瑞宝单光章 (平17)	"
鐘水 進	瑞宝单光章 (平17)	"
平井 勉	瑞宝单光章 (平17)	"
中谷 茂	瑞宝双光章 (平18)	栗 沢
谷川 覚	瑞宝单光章 (平18)	"
	従七位 (平18)	

## 叙位・叙勲

氏名	区分(年)	所属
長谷川 清	瑞宝单光章 (平19)	岩見沢
	正七位 (平19)	
小野寺喜三郎	瑞宝单光章 (平19)	岩見沢
荒井 三行	瑞宝单光章 (平20)	"
	正七位 (令4)	
富樫 光男	瑞宝单光章 (平20)	栗 沢
	従七位 (平20)	
出口 正敏	瑞宝双光章 (平20)	岩見沢
	正七位 (平25)	
岩田 榮一	瑞宝单光章 (平20)	"
	正七位 (平20)	
会沢 辰也	瑞宝单光章 (平21)	"
坂本 辰夫	瑞宝单光章 (平21)	月 形
	正七位 (平21)	
中川 甫	瑞宝单光章 (平21)	岩見沢
平木 勇	瑞宝单光章 (平21)	"
	正七位 (平21)	
亀倉 勝幸	瑞宝双光章 (平21)	月 形
佐々木恵三	瑞宝单光章 (平21)	"
齋藤 稔	瑞宝双光章 (平22)	岩見沢
岩崎 幸勝	瑞宝单光章 (平22)	"
川島 清	瑞宝单光章 (平22)	"
	正七位 (平22)	
中山 昇	瑞宝双光章 (平22)	"
外崎 善一	瑞宝双光章 (平22)	北
青山 吉雄	瑞宝单光章 (平23)	月 形
高橋 一良	瑞宝单光章 (平23)	岩見沢
道下 榮司	瑞宝单光章 (平24)	"
	正七位 (平29)	
平木 忠男	瑞宝单光章 (平24)	"
永安 正宣	瑞宝单光章 (平24)	"
中谷 俊松	瑞宝单光章 (平24)	"
秦野 光徳	瑞宝单光章 (平25)	"
小林 市藏	瑞宝单光章 (平25)	"
	正七位 (平25)	
長永 克己	瑞宝单光章 (平25)	"
秋山 芳信	瑞宝单光章 (平26)	"
鈴木 浩之	瑞宝双光章 (平26)	"
大久保恒夫	瑞宝单光章 (平26)	"
大釜 紀夫	瑞宝单光章 (平26)	月 形
中田 正雄	瑞宝单光章 (平27)	岩見沢
石崎 幸男	瑞宝单光章 (平27)	"
浜本 猛	瑞宝双光章 (平27)	"
	従六位 (平27)	
池田 憲二	瑞宝单光章 (平28)	"
大灘 光治	瑞宝单光章 (平28)	"

氏名	区分(年)	所属
石田 清	瑞宝单光章 (平29)	月 形
柳川 紀夫	瑞宝单光章 (平29)	"
高宮 繁樹	瑞宝单光章 (平30)	岩見沢
	正七位 (平30)	
千葉 勝美	瑞宝双光章 (平30)	"
遠山 訓夫	瑞宝单光章 (平30)	"
	正七位 (平30)	
西村 康德	瑞宝单光章 (平30)	栗 沢
茶木 栄治	瑞宝单光章 (平30)	岩見沢
植松 廣	瑞宝单光章 (平30)	月 形
鈴木 俊彦	瑞宝单光章 (平31)	栗 沢
田野 満	瑞宝单光章 (令元)	岩見沢
松井 英雄	瑞宝双光章 (令元)	"
門脇 芳夫	瑞宝双光章 (令2)	月 形
谷 節夫	瑞宝单光章 (令2)	岩見沢
保田 憲司	瑞宝单光章 (令2)	"
高橋 広	瑞宝双光章 (令3)	"
金澤 博	瑞宝单光章 (令3)	月 形
稲井 正美	瑞宝单光章 (令4)	"
野畑 一義	瑞宝单光章 (令4)	岩見沢
山田 啓一	瑞宝单光章 (令5)	月 形
早川 建一	瑞宝单光章 (令5)	栗 沢
中嶋 雅義	瑞宝单光章 (令5)	月 形
安田 勉	瑞宝双光章 (令6)	岩見沢
鈴木 晴良	瑞宝单光章 (令6)	"
箱山 保二	瑞宝单光章 (令6)	栗 沢

# 消 防 組 織

令和6年4月1日現在

組合議会	9名
------	----

岩見沢市 7名  
月形町 2名

管理者	副管理者
-----	------

岩見沢市長 月形町長  
松野 哲 上坂 隆一

監査委員
------

[識見] 岩見沢市  
村上 勝則  
[議選] 岩見沢市  
木村 光宏

公平委員
------

岩見沢市(兼)  
田村 秀樹  
九津見 千佳子  
亀山 強

会計 管理者
-----------

岩見沢市会計管理者  
原田 和幸

消防長	次長
-----	----

署長兼務

消防本部
------

総務課	庶務係	財務係
警防課	警防係	消防団係
予防課	予防係	保安係

岩見沢消防署
--------

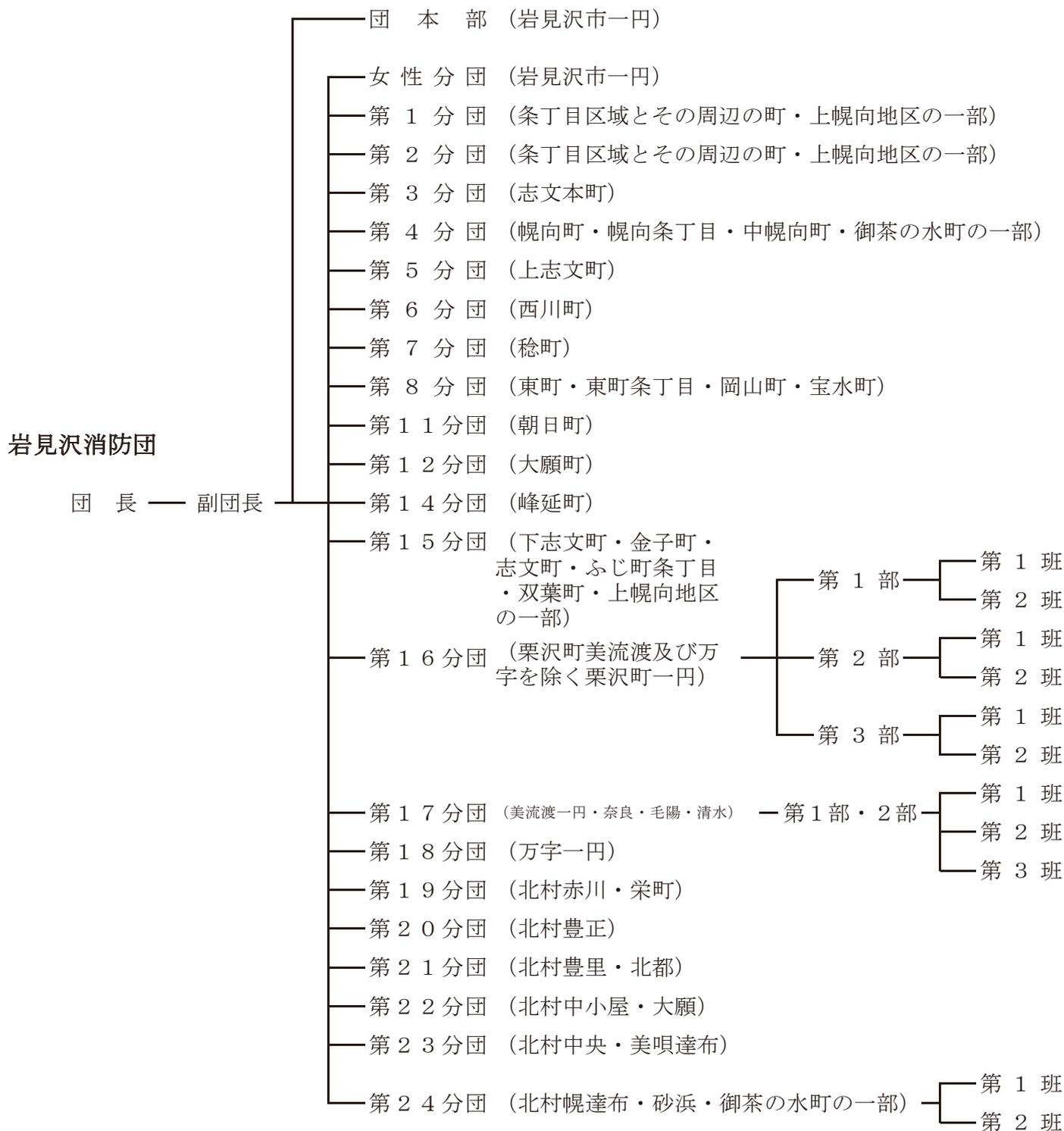
岩見沢署	消防一課	通信係
		救急係
		総務係
		警防係
		予防係
		北盛出張所
	南出張所	
	西出張所	
	美流渡分遣所	
	消防二課	通信係
		救急係
		総務係
警防係		
予防係		
北盛出張所		
南出張所		
西出張所		
美流渡分遣所		
栗沢支署	総務係	
	警防係	
北支署	総務係	
	警防係	
月形支署	総務係	
	警防係	

岩見沢消防団(23分団) 消防団長 仁志 正樹

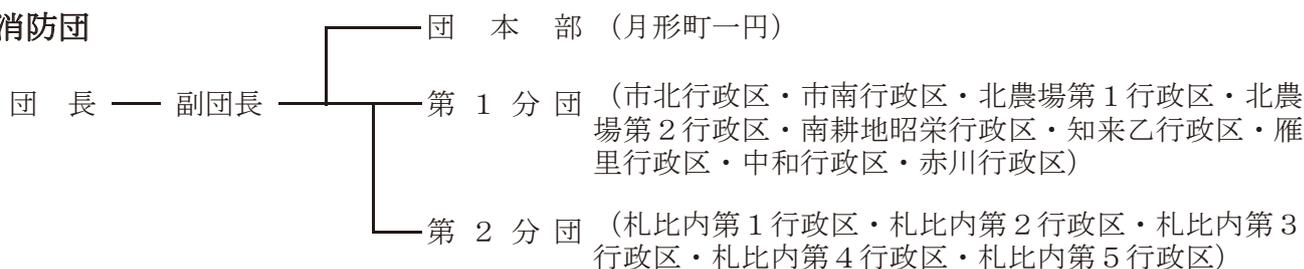
月形消防団(3分団) 消防団長 渡邊 淳博

消 防 団 組 織

令和6年4月1日現在



月形消防団



岩見沢地区消防事務組合議会議員名簿

令和6年4月1日現在

選出区分	氏名	役職名	備考
岩見沢市	猪口満雅	代表議員	
	枝廣晴基		
	木村光宏		
	坂井照美		
	平野義文	議長	
	松本一郎		
	山田靖廣		
月形町	東出善幸	副議長	
	若井昭二	代表議員	

消防職員の現況

令和6年4月1日現在

(単位：人)

所属	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
	消防本部		1	1	4	6	6	
岩見沢消防署				13	36	62	15	126
	岩見沢署			10	30	60	13	113
	月形支署			3	6	2	2	13
合計		1	1	17	42	68	15	144
構成比		0.7%	0.7%	11.8%	29.2%	47.2%	10.4%	100.0%

## 消防職員の勤続年数現況

令和6年4月1日現在

(単位：人)

階級 勤続年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防士	合計	構成比
1年未満			1			5	6	4.2%
1年～5年未満			1		5	10	16	11.1%
5年～10年未満					12		12	8.3%
10年～15年未満				1	34		35	24.3%
15年～20年未満				8	17		25	17.4%
20年～25年未満				12			12	8.3%
25年～30年未満				6			6	4.2%
30年～35年未満			4	7			11	7.6%
35年以上	1	1	11	8			21	14.6%
合計	1	1	17	42	68	15	144	100.0%

注：平均勤続年月 18年5ヶ月

## 消防職員の年齢構成

令和6年4月1日現在

(単位：人)

階級 年齢区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防士	合計	構成比
20歳未満						1	1	0.7%
20歳～24歳						13	13	9.0%
25歳～29歳					16	1	17	11.8%
30歳～34歳					35		35	24.3%
35歳～39歳				10	14		24	16.7%
40歳～44歳				12			12	8.3%
45歳～49歳			1	7			8	5.6%
50歳～54歳			6	6			12	8.3%
55歳以上	1	1	10	7	3		22	15.3%
合計	1	1	17	42	68	15	144	100.0%

注：平均年齢 41歳9ヶ月

消防職員の免許等取得状況

令和6年4月1日現在

(単位：人)

種 類		階 級		消 防 監	消 司 令 長	消 司 令	消 司 令 補	消 士 防 長	消 防 士	合 計
自 運 転 免 許 動 車 許	第 二 種 ・ 大 型						4			4
	第 一 種	大 型		1	1	15	41	70	4	132
		普 通				2		1	11	14
危 取 險 扱 物 者	乙 種	第 3 類						1		1
		第 4 類		1	1	10	34	53	2	101
	丙 種				1	4	4	2		11
消 防 設 備 士	甲 種	第 1 類						1		1
		第 4 類						1		1
	乙 種	第 1 類						2		2
		第 4 類				2	3	3		8
		第 5 類				2	3			5
		第 6 類				4	8	6		18
第 7 類				1	1	1		3		
救 急 隊 員	救急救命士					5	18	32	9	64
	救急科（標準課程）				1	3	19	35		58
	救急Ⅱ課程			1		7	8	3		19
予 術 防 資 技 格	防火査察専門員			1	1	8	27	30	1	68
	消防用設備等専門員						9	8		17
	危険物専門員			1	1		7	8		17
自動車整備管理者				1	1	4	7	1		14
防災士				1		3	27	33		64
酸素欠乏危険作業主任者						7	24	39		70
硫化水素危険作業主任者						7	20	31		58
高所作業車運転資格者						1	3	1		5
第二級陸上特殊無線技士				1		12	32	27	1	73
第三級陸上特殊無線技士						1	1	10	11	23
一級小型船舶操縦士							1			1
二級小型船舶操縦士				1	1	13	40	19		74
移動式クレーン				1	1	12	39	32		85
玉掛け				1	1	12	39	32		85
大型車両系機械						2	10	1		13
小型車両建設機械				1	1	11	30	66	1	110
チェーンソー				1	1	7	19	28		56
ガス溶接				1	1	2	14	11		29
アーク溶接				1	1	2	18	17		39
潜水士							3	8		11
足場組立作業主任者				1		1	2			4
毒劇物取扱者								1		1
研削といし				1		3	6	8		18

※運転免許～第一種大型自動車免許取得者で第二種大型自動車免許取得者を「第二種・大型」。第一種大型自動車免許取得者を「第一種・大型」。第一種大型自動車免許未取得で中型、準中型、普通自動車免許取得者を「第一種・普通」とする。

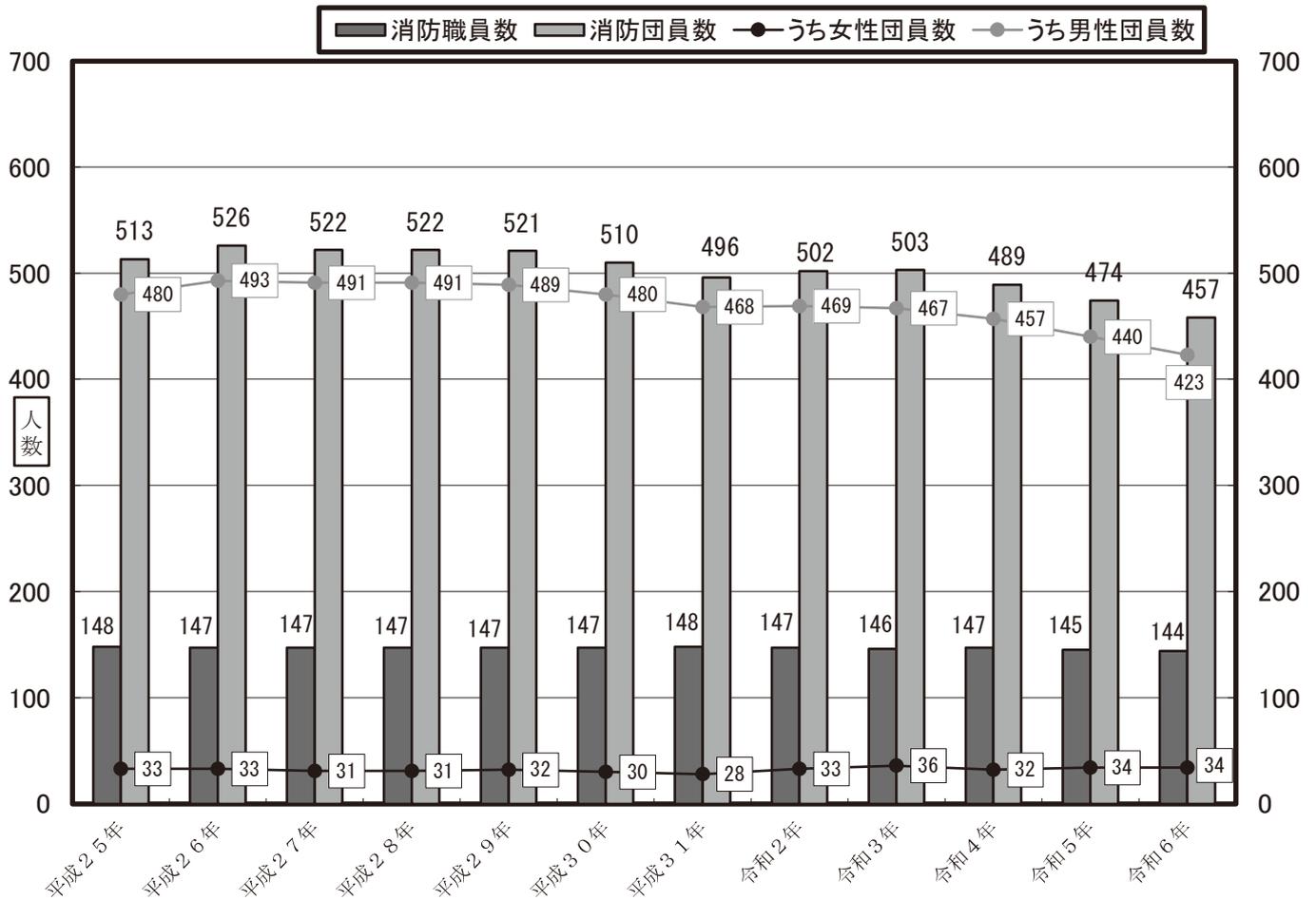
消防職員・団員の学校教育及び研修状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

区分	課程別		実教育 日数 (日)	署所別研修受講者数(人)			合計 (人)
				消防本部	岩見沢消防署		
					岩見沢署	月形支署	
北海道 消防 学校	初任 教育	前期	95		2		2
		後期	95		1	1	2
	専 科 教 育	警 防 科	10		1		1
		予 防 査 察 科	8		1		1
		危 険 物 科	5	1			1
		火 災 調 査 科	10	1			1
		救 急 科	20		1		1
		幹 部 教 育	幹 部 科	8		1	1
	特別 教育	はしご自動車運用課程	4		4		4
		気管挿管再認定講習	1		2		2
		ビデオ硬性喉頭鏡講習	1		4		4
		処置拡大2行為講習	4		1	1	2
	消 団 教 育	幹部教育指揮幹部科	3		1		1
	札幌市 消防学校	救急救命士養成課程	125		1		1
消防庁 消防大学校	専科 教育	危 険 物 科	22	1			1
合 計				3	20	3	26

## 消防職員・団員数の推移

各年4月1日現在  
(単位：人)



## 消防職員・団員1人当たりの面積・人口・世帯数

令和6年4月1日現在

区 分	市 町 別		組 合 全 体
	岩 見 沢 市	月 形 町	
職 員 数	131	13	144
団 員 数	387	70	457
面 積 ( 単 位 : km <sup>2</sup> )	481.02	150.40	631.42
消防職員1人当たり	3.67	11.57	4.38
消防団員1人当たり	1.24	2.15	1.38
人 口 ( 単 位 : 人 )	74,930	2,791	77,721
消防職員1人当たり	572	215	540
消防団員1人当たり	194	40	170
世 帯 数 ( 単 位 : 世 帯 )	40,571	1,566	42,137
消防職員1人当たり	310	120	293
消防団員1人当たり	105	22	92

令和6年度当初予算

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
款	項	金額	比率	款	項	金額	比率
1. 分担金及び負担金		1,536,370	99.8%	1. 議会費		836	0.0%
	1. 負担金	1,536,370			1. 議会費	836	
2. 使用料及び手数料		1,156	0.1%	2. 総務費		296,939	19.3%
	1. 手数料	1,156			1. 消防本部費	295,394	
3. 財産収入		1	0.0%	2. 監査委員費		1,545	74.6%
	1. 財産売 払収入	1			3. 消防費	1,148,572	
4. 寄附金		1	0.0%	1. 岩見沢署費		1,007,472	6.0%
	1. 寄附金	1			2. 月形支署費	141,100	
5. 繰越金		1	0.0%	4. 公債費		92,470	0.1%
	1. 繰越金	1			1. 公債費	92,470	
6. 諸収入		2,288	0.1%	5. 予備費		1,000	100.0%
	1. 雑入	2,288			1. 予備費	1,000	
歳入合計		1,539,817	100.0%	歳出合計		1,539,817	100.0%

令和6年度団体別当初予算

(単位：千円)

区分 市町別	団 一 般 会 別 計	組 合 負 担 金			対一般会計 構 成 比
		本部費	署 費	計	
岩 見 沢 市	48,200,000	272,455	1,093,654	1,366,109	2.83%
月 形 町	5,444,000	25,147	145,114	170,261	3.13%
計	53,644,000	297,602	1,238,768	1,536,370	2.86%

## いわみざわ消防フェア・旧消防フェスティバルの実施状況

開催年月		参加者数	開催場所	開催テーマ
消防フェスティバル 第1回（平成16年）	10月17日	約1,500人	市役所 駐車場	「見て 触れて 体験して」
第2回（平成17年）	9月25日	約2,000人		「住民（あなた）が主役安全なまち いわみざわ」
第3回（平成18年）	7月23日	約2,300人		「消防士は かつこいい」
第4回（平成19年）	7月29日	約2,000人		「守ろう・広めよう・身につけよう！！」
第5回（平成20年）	8月3日	約2,000人		「ひろめよう！あなたから始まる防災意識」
第6回（平成21年）	8月9日	約2,300人		「見て 体験 高めよう防災意識！」
第7回（平成22年）	8月1日	約1,100人		「さあ 集まれ 未来の消防士！」
第8回（平成23年）	7月24日	約2,500人		「防災への小さな一歩、確かな一歩！」
第9回（平成24年）	7月29日	約3,500人		「まもり愛 つなぎ愛 未来は僕の手で」
第10回（平成25年）	8月4日	約2,800人		岩見沢駅東市民広場 イベントホール 赤レンガ
第11回（平成26年）	7月27日	約1,000人	「未来の消防士 今、走り出す」	
第12回（平成27年）	8月1日	約3,000人	「フェスティバルに集まれ！楽しんで防災への第一歩」	
第13回（平成28年）	7月31日	約3,500人	「体験・安心・笑顔」	
いわみざわ消防フェア 第1回（平成30年）	9月1日	約1,200人	消防庁舎 敷地内	体験型・展示型・見学型の開催
第2回（令和元年）	8月24日	約 900人		
（令和2年）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			
（令和3年）	第73回北海道消防大会が岩見沢市開催のため中止。 （※後に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上記大会が中止となる。）			
（令和4年）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			
（令和5年）	駐車場の確保が困難なため事業内容の見直し及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			
第3回（令和6年）	7月27日	約2,300人	イオン岩見沢店 駐車場	体験型・展示型・見学型の開催

### 主な開催内容

1. 消防車両及び装備品の展示、車両乗車、放水、煙、応急手当等の体験学習
2. 岩見沢市による非常食の提供、消防団員の活動紹介、募集

# 警 防 編

消防機械等及び消防水利の設置状況

令和6年4月1日現在

区 分		所 属		合 計		
		消 防 本 部 ・ 署	月 形 支 署	岩 見 沢 消 防 団	月 形 消 防 団	
機 械 ・ 器 具 ( 台 ・ 隻 ・ 器 )	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2		5	1	8
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	6	1			7
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	4	1		1	6
	は し ご 付 消 防 自 動 車	1				1
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車			23	2	25
	化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1				1
	救 助 工 作 車	1				1
	救 急 自 動 車	5	1			6
	指 揮 車	1				1
	人 員 搬 送 車	1				1
	照 明 搬 送 車	1				1
	資 機 材 搬 送 車	2				2
	指 導 査 察 車	1				1
	ホ イ ー ル ロ ー ダ ー	6				6
	広 報 車	1	1	1		3
	連 絡 車	2	1			3
	合 計	35	5	29	4	73
	救 助 艇	3	2			5
	救 助 艇 ト レ ー ラ ー	2	1			3
	小 型 動 力 ポ ン プ			3		3
空 気 呼 吸 器	59	9		2	70	
酸 素 呼 吸 器	2				2	
無 線 ( 機 )	車 載 型 移 動 局 無 線 装 置	29	4	29	4	66
	可 搬 型 移 動 局 無 線 装 置	1	1			2
	卓 上 型 可 搬 無 線 装 置	9	1			10
	卓 上 型 受 令 機	6	1			7
	携 帯 型 移 動 局 無 線 装 置	47	8			55
	署 活 系 携 帯 型 無 線 装 置	52	10			62
	合 計	144	25	29	4	202
水 ( 基 利 )	消 火 栓	990	17			1,007
	防 火 水 槽	129	36			165
	計	1,119	53			1,172
ホ ー ス ( 本 )	6 5 mm ホ ー ス	405	68	670	63	1,206
	5 0 mm ホ ー ス	454	71		18	543
	合 計	859	139	670	81	1,749
そ の 他 施 設 ( 箇 所 ・ 棟 ・ 塔 )	署 ・ 支 署 ・ 出 張 所 ・ 分 遣 所	7	1			8
	器 具 置 場			23	1	24
	サイレン塔等サイレン吹鳴装置	4	1	16	17	34
	訓 練 棟	1				1
無 線 塔	1				1	

消防団の現況

令和6年4月1日現在

(単位：人)

区分	分 団 別	階 級 別									合 計
		団 長	副団長	本部長	分団長	副本部長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
岩 見 沢 消 防 団	団 本 部	1	3	1							5
	女 性 分 団				1		1	2	4	17	25
	第 1 分 団				1		1	2	4	20	28
	第 2 分 団				1		1	3	6	36	47
	第 3 分 団				1		1	1	2	12	17
	第 4 分 団				1		1	1	2	13	18
	第 5 分 団				1		1	1	2	11	16
	第 6 分 団				1		1	1	2	16	21
	第 7 分 団				1		1	1	2	18	23
	第 8 分 団				1		1	1	1	3	7
	第 1 1 分 団				1		1	1	2	5	10
	第 1 2 分 団				1		1	1	2	7	12
	第 1 4 分 団				1		1	1	2	8	13
	第 1 5 分 団										
	第 1 6 分 団				1		1	3	6	36	47
	第 1 7 分 団				1		1	2	2	9	15
	第 1 8 分 団				1		1	1	1	2	6
	第 1 9 分 団				1		1	1	2	5	10
	第 2 0 分 団				1		1	1	2	9	14
	第 2 1 分 団				1		1	1	2	7	12
第 2 2 分 団				1		1	1	2	9	14	
第 2 3 分 団				1		1	1	2	6	11	
第 2 4 分 団				1		1	1	2	11	16	
小 計		1	3	1	21		21	28	52	260	387
月 形 消 防 団	団 本 部	1	2	1			1		1	7	13
	第 1 分 団				1		1	2	5	25	34
	第 2 分 団				1		1	2	4	15	23
	小 計	1	2	1	2		3	4	10	47	70
合 計		2	5	2	23		24	32	62	307	457

## 消防団員の年額報酬の現況

令和6年4月1日現在

(単位：円)

階級別 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
岩見沢地区	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
空知管内平均	97,622	76,378	61,056	52,611	43,156	39,767	37,600
北海道平均	91,929	72,070	54,857	46,876	41,376	38,646	36,928

※北海道平均、空知管内平均は「令和4年4月1日現在」

□過去の改正の経過

(単位：円)

階級別 改正年	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
令和4年	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
平成15年	77,400	58,500	44,700	36,900	30,900	27,700	24,900
平成7年	70,800	54,900	40,800	31,300	27,500	24,900	22,300
平成元年	66,200	51,300	37,800	28,500	24,800	22,300	19,800
昭和62年	63,700	49,400	36,400	27,400	23,900	21,500	19,100
昭和61年	61,300	47,500	35,000	26,400	23,000	20,700	18,400

## 消防団員の出勤報酬の現況

令和6年4月1日現在

(単位：円)

種別 区分	災害出勤		警戒・訓練・防火査察・その他の出勤	
	1日	4時間未満	1日	4時間未満
岩見沢地区	8,000	4,000	6,200	3,100

□過去の改正の経過

令和4年 … 1人1回につき3,600円（1回4時間を限度とし、4時間を超えるときは、4時間ごとに1回を加算する。）→災害1日8,000円・4時間未満4,000円、その他1日6,200円・4時間未満3,100円

総務省消防庁通知「消防団員の報酬等の基準の策定等について」に基づき費用弁償から出勤報酬へ変更する。

平成24年 … 災害1人1回につき3,600円→1人1回につき3,600円（1回4時間を限度とし、4時間を超えるときは、4時間ごとに1回を加算する。）

平成5年 … 災害3,300円→3,600円、その他2,900円→3,100円

平成4年 … 災害3,000円→3,300円、その他2,700円→2,900円

平成3年 … 災害2,800円→3,000円、その他2,500円→2,700円

平成元年 … 災害2,300円→2,800円、その他2,000円→2,500円

昭和57年 … 災害2,000円→2,300円、その他1,700円→2,000円

# 予 防 編

指定防火対象物査察実施状況

令和5年1月1日～12月31日

指定防火対象物区分			対象物数(件)			査察実施回数(回)			指導件数(件)
			岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計	
(1)	イ	映画館・観覧場	8	1	9	8	1	9	7
	ロ	公会堂・集会場	99	2	101	98	1	99	119
(2)	イ	キャバレー・カフェー							
	ロ	遊技場・ダンスホール	9		9	9		9	8
	ハ	性風俗関連特殊 営 業 店 舗 等							
	ニ	カラオケボックス等	2		2	2		2	14
(3)	イ	待合・料理店の類							
	ロ	飲 食 店	105	5	110	99	6	105	178
(4)		百貨店・マーケット・その他 物品販売業を営む店舗	127	6	133	123	6	129	116
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	17	22	39	17	22	39	46
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,281	46	1,327	1,276	45	1,321	829
(6)	イ	病院・診療所・助産所	68	1	69	67	1	68	44
	ロ	老人短期入所施設等	40	8	48	38	8	46	34
	ハ	老人デイサービスセンター等	132	10	142	128	10	138	73
	ニ	幼稚園・特別支援学校	5		5	5		5	7
(7)		小中高等学校・各種学校の類	85	3	88	85	3	88	38
(8)		博物館・図書館	2	2	4	2	2	4	1
(9)	イ	公衆浴場のうち 蒸気浴場・熱気浴場							
	ロ	イに掲げる公衆浴場 以外の公衆浴場	2		2	2		2	3
(10)		車両の停車場	1		1	1		1	
(11)		神社・寺院・教会の類	100	3	103	95	3	98	87
(12)	イ	工場・作業場	296	19	315	286	18	304	147
	ロ	スタジオの類							
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	78	4	82	78	4	82	26
	ロ	飛行機等の格納庫							
(14)		倉 庫	369	20	389	364	20	384	115
(15)		前各項に該当しない事業場	457	39	496	447	39	486	172
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複合用途防火対象物	258	15	273	248	14	262	362
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	171	3	174	169	3	172	101
(17)		重要文化財	1	1	2	1	1	2	
合 計			3,713	210	3,923	3,648	207	3,855	2,527

指定防火対象物査察指導状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件)

指導項目別	市町別		
	岩見沢市	月形町	合計
消火器具	576	1	577
屋内消火栓設備	18	3	21
スプリンクラー設備	10	2	12
水噴霧消火設備等 (泡・不活性ガス・ハロゲン・粉末)	2		2
屋外消火栓設備			
動力消防ポンプ設備			
自動火災報知設備	116	2	118
ガス漏れ火災警報設備			
消防機関へ通報する火災報知設備	7		7
漏電火災警報器	13		13
非常警報設備・器具	16	1	17
避難器具	22	4	26
誘導灯・誘導標識	199	4	203
消防用水			
消火活動上必要な施設 (連結送水管・排煙・連結散水設備)			
防火管理	740	30	770
防災管理		2	2
火気関係等	10	2	12
少量危険物等	519	25	544
住宅用火災警報器	69		69
その他	134		134
合計	2,451	76	2,527

中高層建築物状況

令和6年4月1日現在

(単位：施設)

区 分		4 階			5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	合 計
		岩見沢市	月 形 町	小 計	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	
(1)	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場									
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場									
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー									
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル									
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等									
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等									
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類									
	ロ	飲 食 店									
(4)	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ そ の 他 物 品 販 売 業 を 営 む 店 舗										
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所									
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅									
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所									
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等									
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等									
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校									
(7)	小 中 高 等 学 校 ・ 各 種 学 校 の 類										
(8)	博 物 館 ・ 図 書 館										
(9)	イ	公 衆 浴 場 の う ち 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場									
	ロ	イ に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外 の 公 衆 浴 場									
(10)	車 両 の 停 車 場										
(11)	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類										
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場									
	ロ	ス タ ジ オ の 類									
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場									
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫									
(14)	倉 庫										
(15)	前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場										
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物									
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物									
(17)	重 要 文 化 財										
合 計		121	9	130	70	10	8	1	1	2	222

防火管理者選任及び消防計画届出状況

指定防火対象物区分		市町別	該当防火対象物数 (A)			防火管理者選任数 (B)		
			岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計
(1)	イ	映画館・観覧場	2	1	3	2	1	3
	ロ	公会堂・集会場	97	2	99	96	2	98
(2)	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊技場・ダンスホール	8		8	8		8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2		2	2		2
(3)	イ	待合・料理店の類						
	ロ	飲食店	65	1	66	55	1	56
(4)		百貨店・マーケット・その他物品販売業を営む店舗	87	4	91	81	4	85
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	6		6	6		6
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	66		66	61		61
(6)	イ	病院・診療所・助産所	17	1	18	17	1	18
	ロ	老人短期入所施設等	31	8	39	30	8	38
	ハ	老人デイサービスセンター等	51	4	55	49	4	53
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6		6	6		6
(7)		小中高等学校・各種学校の類	32	3	35	31	3	34
(8)		博物館・図書館	2	2	4	2	2	4
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		1	1		1
(10)		車両の停車場						
(11)		神社・寺院・教会の類	59	3	62	52	3	55
	イ	工場・作業場	5		5	4		4
(12)	ロ	スタジオの類						
(13)	イ	自動車車庫・駐車場						
	ロ	飛行機等の格納庫						
(14)		倉庫	1		1	1		1
(15)		前各項に該当しない事業場	47	6	53	41	6	47
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	120	7	127	103	7	110
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	53	1	54	38	1	39
(17)		重要文化財		1	1		1	1
合計			758	44	802	686	44	730

令和5年12月31日現在

(単位：件)

消防計画届出数 (C)			選任率 (B/A)			届出率 (C/A)		
岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計
2	1	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
90	2	92	99.0%	100.0%	99.0%	92.8%	100.0%	92.9%
8		8	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
2		2	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
45	1	46	84.6%	100.0%	84.8%	69.2%	100.0%	69.7%
76	4	80	93.1%	100.0%	93.4%	87.4%	100.0%	87.9%
5		5	100.0%		100.0%	83.3%		83.3%
59		59	92.4%		92.4%	89.4%		89.4%
17	1	18	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
28	8	36	96.8%	100.0%	97.4%	90.3%	100.0%	92.3%
46	4	50	96.1%	100.0%	96.4%	90.2%	100.0%	90.9%
6		6	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
30	3	33	96.9%	100.0%	97.1%	93.8%	100.0%	94.3%
2	2	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
			100.0%		100.0%	0.0%		0.0%
46	3	49	88.1%	100.0%	88.7%	78.0%	100.0%	79.0%
4		4	80.0%		80.0%	80.0%		80.0%
1		1	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
34	6	40	87.2%	100.0%	88.7%	72.3%	100.0%	75.5%
92	7	99	85.8%	100.0%	86.6%	76.7%	100.0%	78.0%
34	1	35	71.7%	100.0%	72.2%	64.2%	100.0%	64.8%
	1	1		100.0%	100.0%		100.0%	100.0%
627	44	671	90.5%	100.0%	91.0%	82.7%	100.0%	83.7%

建築物同意事務状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件)

区分		市町別		合計		
		岩見沢市	月形町	新築	増改築等	件数
(1)	イ	映画館・観覧場				
	ロ	公会堂・集会場				
(2)	イ	キャバレー・カフェ				
	ロ	遊技場・ダンスホール				
	ハ	性風俗関連特殊 営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等				
(3)	イ	待合・料理店の類				
	ロ	飲食店	3			3
(4)		百貨店・マーケット・その他 物品販売業を営む店舗	3			3
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所				
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	3			3
(6)	イ	病院・診療所・助産所	1			1
	ロ	老人短期入所施設等	4			4
	ハ	老人デイサービスセンター等				
	ニ	幼稚園・特別支援学校				
(7)		小中高等学校・各種学校の類				
(8)		博物館・図書館				
(9)	イ	公衆浴場のうち 蒸気浴場・熱気浴場				
	ロ	イに掲げる公衆浴場 以外の公衆浴場				
(10)		車両の停車場				
(11)		神社・寺院・教会の類	1			1
(12)	イ	工場・作業場	3	2		5
	ロ	スタジオの類				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	11			11
	ロ	飛行機等の格納庫				
(14)		倉庫	4			4
(15)		前各項に該当しない事業場	11			11
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複合用途防火対象物	3	1		4
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1			1
		一般住宅等	6			6
		昇降機・工作物				
		合計	54	3		57

各種届出状況

令和5年1月1日～12月31日

区 分	件 数	区 分	件 数
工事整備対象設備等着工届出書	56	少量危険物貯蔵取扱所設置届出書	51
消防用設備等設置届出書	158	指定可燃物貯蔵取扱所設置届出書	
防火対象物使用開始(変更)届出書	64	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書	9
防火管理者選任(解任)届出書	156	集合煙突発煙試験申請書	
消防計画作成(変更)届出書	181	ネオン管灯設備設置届出書	
燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届出書	14	劇場等の裸火使用・危険物品持込申請書	7
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置(変更)届出書	22	水素ガスを充填する気球の設置(変更)届出書	
住宅用防災警報器設置届出書	20	消防訓練実施計画書	763
防火対象物点検結果報告書	66	催物開催届出書	35
消防用設備等点検結果報告書	1,410	露店等の開設届出書	60

## 消防協力団体

令和6年4月1日現在

団体名	設立年月日	会員数
岩見沢地区危険物安全協会 (岩見沢市危険物安全協会)	昭和47年4月1日 (昭和41年4月1日)	130 事業所
岩見沢市火防協会	昭和32年9月20日	215 町内会 26,389 世帯
岩見沢地区防火委員会	昭和57年8月1日	幼年消防クラブ 12 団体 少年消防クラブ 2 団体

## 幼年・少年消防クラブ状況

令和6年4月1日現在

(単位：人)

名称	男女別		指導者	合計	設立年月日
	男	女			
よいこのくに幼稚園幼年消防クラブ	46	45	19	110	昭和59年2月1日
みなみ保育園幼年消防クラブ	13	21	8	42	平成2年6月27日
岩見沢ひがし認定こども園幼年消防クラブ	31	17	9	57	平成2年10月15日
さくらぎ保育園幼年消防クラブ	12	9	6	27	平成2年11月26日
みどり保育園幼年消防クラブ	27	26	17	70	平成2年11月26日
なかよし保育園幼年消防クラブ	17	13	13	43	平成2年11月26日
みその保育園幼年消防クラブ	12	13	16	41	平成4年4月1日
ほろむい認定こども園とことん幼年消防クラブ	12	9	4	25	平成9年6月17日
北村幼年消防クラブ	12	15	12	39	平成9年6月25日
岩見沢めぐみ幼稚園幼年消防クラブ	13	22	16	51	平成15年4月1日
花の里こども園幼年消防クラブ	10	7	6	23	平成28年4月12日
くりっこ幼年消防クラブ	12	7	9	28	平成29年6月1日
第二区会少年消防クラブ	7	6	3	16	昭和49年10月17日
若駒少年消防クラブ	20	15	5	40	昭和62年6月28日
合計	244	225	143	612	

## 岩見沢地区危険物安全協会

### (設立趣旨)

会員相互の融和親睦を深め危険物の安全な貯蔵取扱いを行い、災害の絶無を期し事業の繁栄を促進する。

### (事業内容)

- (1) 危険物の防火についての研究、講習会の開催について。
- (2) 危険物取扱者の育成に関すること。
- (3) 危険物火災予防の推進について。
- (4) 油処理剤の備蓄及び貸出しについて。
- (5) 危険物防災功労者の表彰について。

## 岩見沢市火防協会

### (設立趣旨)

町会を通じて、活発な防火活動を行い、自主的な防火体勢を確立して、火災の絶無を期し、もって明るく住みよい街づくりに寄与する。

### (事業内容)

- (1) 火災予防及び防火・防災思想の普及宣伝に関すること。
- (2) 防火・防災についての研修会、講演会の開催、見学等に関すること。
- (3) 消火器の普及取扱い訓練に関すること。
- (4) 消防団員の後援並びに激励に関すること。
- (5) 優良役員及び団体の表彰に関すること。
- (6) その他この会の目的達成に必要な事項。

## 岩見沢地区防火委員会

### (設立趣旨)

幼年少年消防クラブ並びに女性防火クラブの育成強化を図ることにより、幼少年期における防火意識の高揚と女性の防火意識を高め、地域並びに家庭からの災害を防止し、災害のない明るい街づくりを推進する。

### (事業内容)

- (1) 防火・防災思想の普及、火災予防の推進に関すること。
- (2) 幼年少年消防クラブ及び女性防火クラブの育成指導に関すること。
- (3) 優良クラブ員及び優良クラブの表彰に関すること。

火災出動状況

令和5年1月1日～12月31日

区分 市町別	火災出動件数 (件)	火災件数 (件)	その他の件数				
			火事騒	誤報	虚報	応援	その他
岩見沢市	75	26	15	31		2	1
月形町	2	1		1			
合計	77	27	15	32		2	1

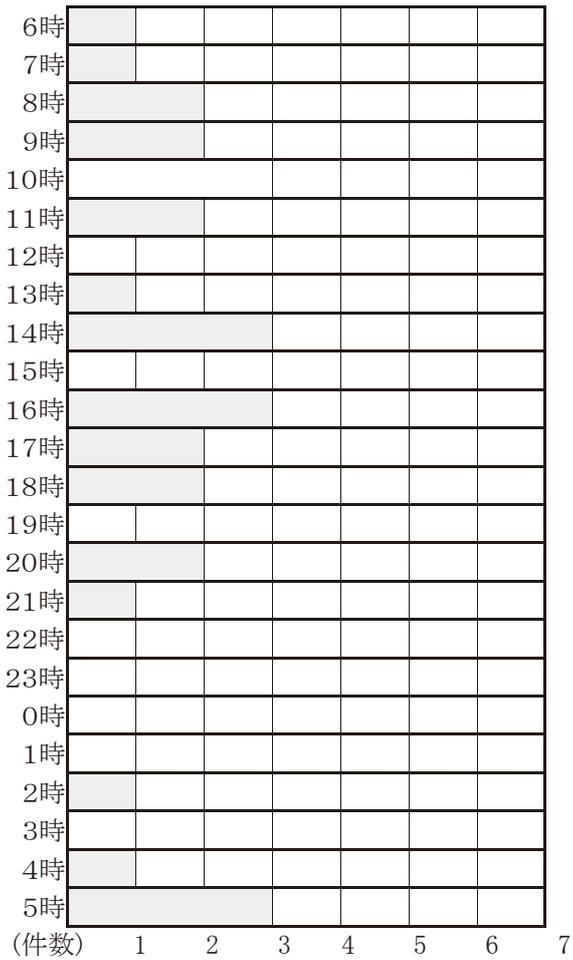
火災状況

令和5年1月1日～12月31日

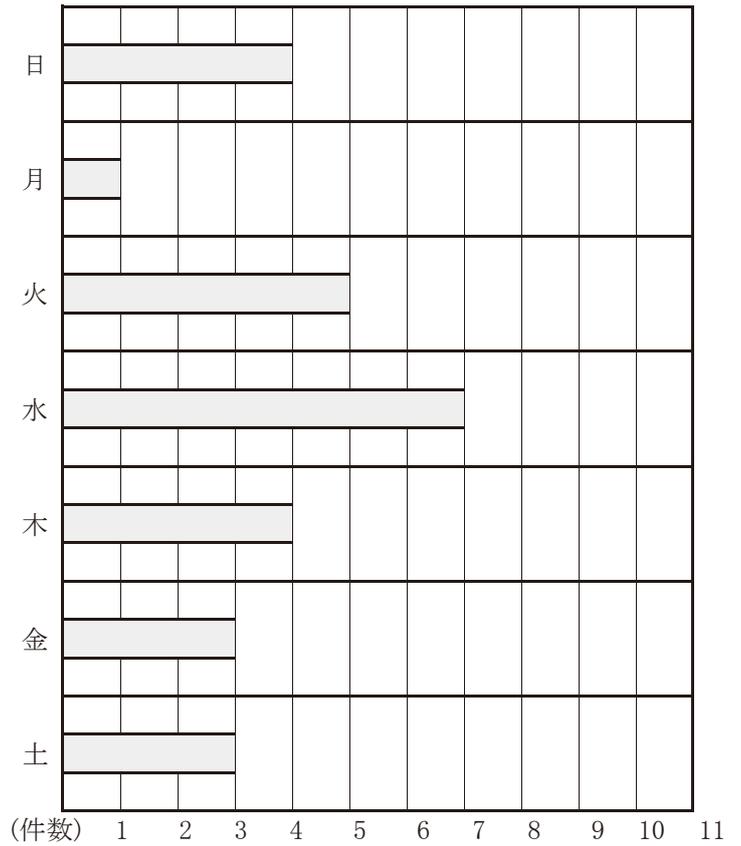
区分 市町別	火災件数 (件)	建物	林野	車両		船舶	航空機	その他	焼損棟数 (棟)	爆発損害棟数 (棟)	り災世帯数 (世帯)	損害見積額 (千円)	死傷者数	
				自動車車両	鉄道車両								死者 (人)	負傷者 (人)
岩見沢市	26	10		7				9	10		6	12,550	1	2
月形町	1			1								6,900		
合計	27	10		8				9	10		6	19,450	1	2

※ 爆発とは、爆発現象により建物等に損害が発生したが、焼き損害がなかったものをいう。

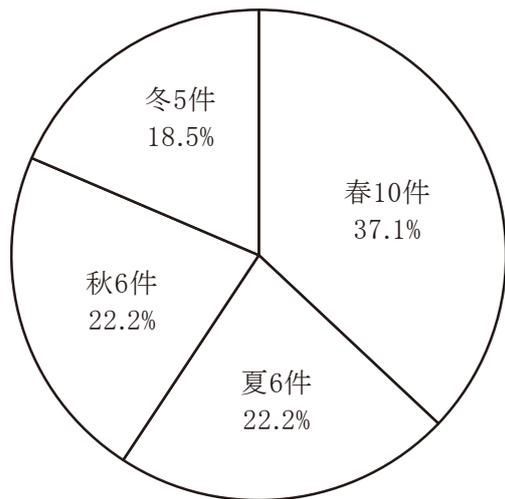
時間別火災件数



曜日別火災件数

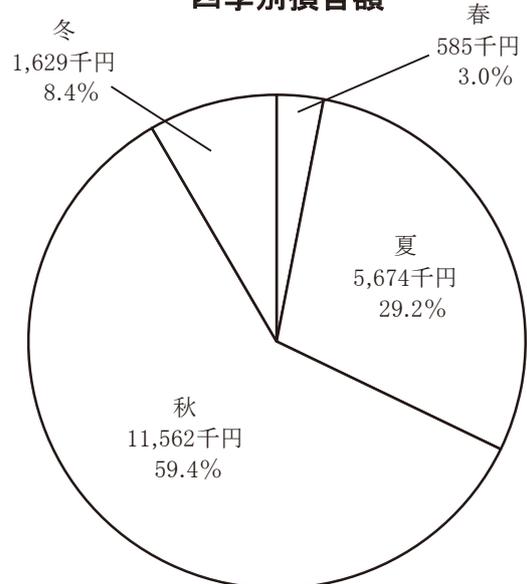


四季別火災件数



合計 27件

四季別損害額



合計 19,450千円

※ 春3月～5月 夏6月～8月 秋9月～11月 冬12月～2月  
 ※ 各表 令和5年1月1日～12月31日

月別火災発生状況

区分 市町月別		火災件数							焼損棟数					棟 爆発 損害 数	
		建 物	林 野	車 両		船 舶	航 空 機	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		計
				自 動 車	鉄 道										
岩 見 沢 市	1 月	1		1					2			1		1	
	2 月			1					1						
	3 月	1		1				1	3				1	1	
	4 月							1	1						
	5 月	2		1				3	6				2	2	
	6 月	2							2			2		2	
	7 月			1					1						
	8 月	1		1				1	3				1	1	
	9 月														
	10 月							1	1						
	11 月	2		1				1	4	1			1	2	
	12 月	1						1	2			1		1	
計	10		7				9	26	1		4	5	10		
月 形 町	1 月														
	2 月														
	3 月														
	4 月														
	5 月														
	6 月														
	7 月														
	8 月														
	9 月			1					1						
	10 月														
	11 月														
	12 月														
計			1					1							
合 計	10		8				9	27	1		4	5	10		

令和5年1月1日～12月31日

り災世帯数				焼 損 面 積			損害見積額 (千円)					死傷者数	
全 損	半 損	小 損	計	床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	林 野 (a)	建 物	収 容 物	車 両	そ の 他	計	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
		1	1	10			1,167	441	20		1,628		1
									25	144	169		
		2	2				16		400		416		1
	1	1	2	11	1		2,940	501			3,441	1	
									2,100		2,100		
								3	130		133		
		1	1	119			2,417	685	201	1,359	4,662		
						1	1				1		
	1	5	6	140	2		6,541	1,630	2,876	1,503	12,550	1	2
									6,900		6,900		
									6,900		6,900		
	1	5	6	140	2		6,541	1,630	9,776	1,503	19,450	1	2

過去5年間の火災の推移

区分		火災件数				焼 損 棟 数	爆 棟 発 損 害 数	り災世帯数			
		建 物	林 野	車 両	そ の 他			計	全 損	半 損	小 損
岩 見 沢 市	令和元年	15		1	9	25	16		2	8	10
	令和2年	24	1	4	7	36	29	2	1	12	15
	令和3年	14		6	7	27	21	2	2	9	13
	令和4年	24		5	4	33	24		1	13	14
	令和5年	10		7	9	26	10		1	5	6
月 形 町	令和元年	2		1	1	4	2			1	1
	令和2年	1				1	2	1			1
	令和3年	2		1	1	4	3			1	1
	令和4年	1	1	1		3	1			1	1
	令和5年			1		1					
合 計	令和元年	17		2	10	29	18		2	9	11
	令和2年	25	1	4	7	37	31	3	1	12	16
	令和3年	16		7	8	31	24	2	2	10	14
	令和4年	25	1	6	4	36	25		1	14	15
	令和5年	10		8	9	27	10		1	5	6

各年1月1日～12月31日

焼 損 面 積			火災種別損害見積額 (千円)					死傷者数	
床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
421	103		36,099		60		36,159	1	2
763	13	27	22,714		467	2,536	25,717	5	6
796	119		31,097		1,132	12,198	44,427	2	5
393	7		22,688		919	152	23,759	1	9
140	2		6,541		2,876	3,133	12,550	1	2
1	2		114		1,288	571	1,973		1
280	74		12,426			405	12,831		
81			1,055		650	568	2,273		
16		146	212	17	105		334		1
					6,900		6,900		
422	105		36,213		1,348	571	38,132	1	3
1,043	87	27	35,140		467	2,941	38,548	5	6
877	119		32,152		1,782	12,766	46,700	2	5
409	7	146	22,900	17	1,024	152	24,093	1	10
140	2		6,541		9,776	3,133	19,450	1	2

過去5年間の出火原因の推移

各年1月1日～12月31日

(単位：件)

原因別	年 別				
	令和 5 年	令和 4 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 元 年
たばこ	5	1	2	3	2
こんろ		6	2	4	7
かまど					
風呂・かまど			1		
炉					1
焼却炉		1			
ストーブ		1	1	3	1
こたつ					
ボイラー	1				
煙突・煙道		1			1
排気管	3	2	1	1	
電気機器	1	1	2		2
電気装置				1	
電灯・電話等の配線	1	4	2	2	1
内燃機関			1		1
配線器具	1	1			1
火あそび			1		1
マッチ・ライター		1			
たき火					
溶接機・切断機			1		
灯火	1		1		
衝突の火花		1			
取灰					
火入れ		2	5	6	2
放火				1	1
放火の疑い				2	
その他	9	9	4	7	3
不明	5	5	7	7	5
合 計	27	36	31	37	29

危険物製造所等設置状況

令和6年4月1日現在

(単位：施設)

施設別		市町別		
		岩見沢市	月形町	合計
製造所				
貯蔵所	屋内貯蔵所	23	3	26
	屋外タンク貯蔵所	24	3	27
	屋内タンク貯蔵所	11	1	12
	地下タンク貯蔵所	164	22	186
	簡易タンク貯蔵所	1		1
	移動タンク貯蔵所	90	3	93
	屋外貯蔵所			
取扱所	給油取扱所	43	2	45
	一般取扱所	59	2	61
	第一種販売取扱所	2		2
合計		417	36	453

危険物製造所等の許認可等状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件)

施設別		許認可別		変更		仮使用	完成検査前検査	予防規程	
		許可	完成	許可	完成			制定	変更
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所								
	屋外タンク貯蔵所	1		1	1				
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所			1	1				
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	3	3	6	6				
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所			15	16	12	3		3
	一般取扱所			2	4				
	第一種販売取扱所								
合計		4	3	25	28	12	3		3

仮貯蔵・仮取扱い 2

完成検査済証再交付

危険物関係各種届出状況

令和5年1月1日～12月31日

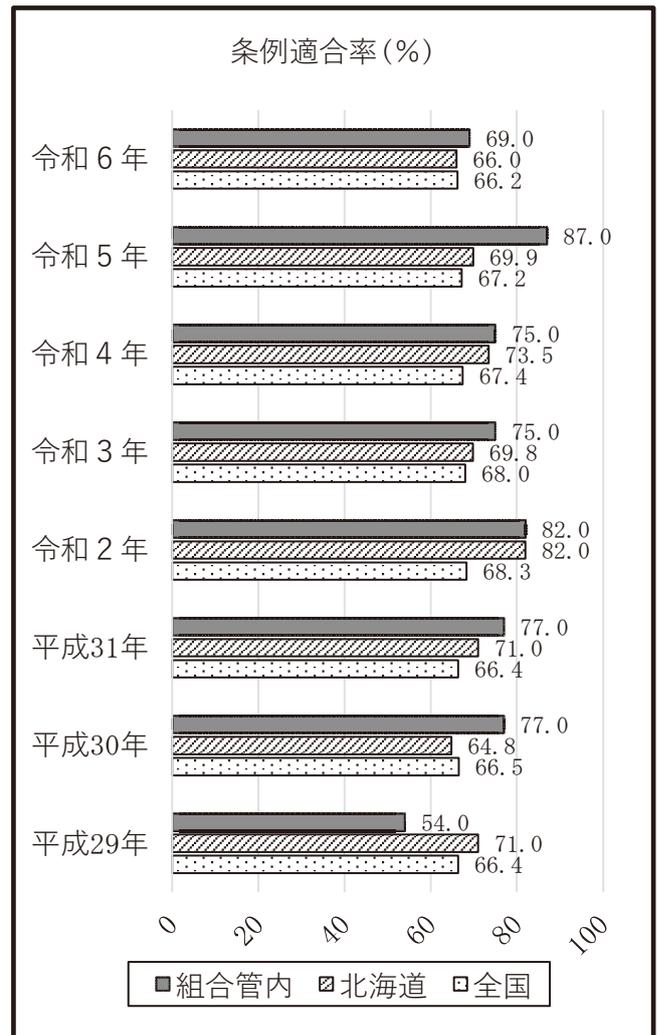
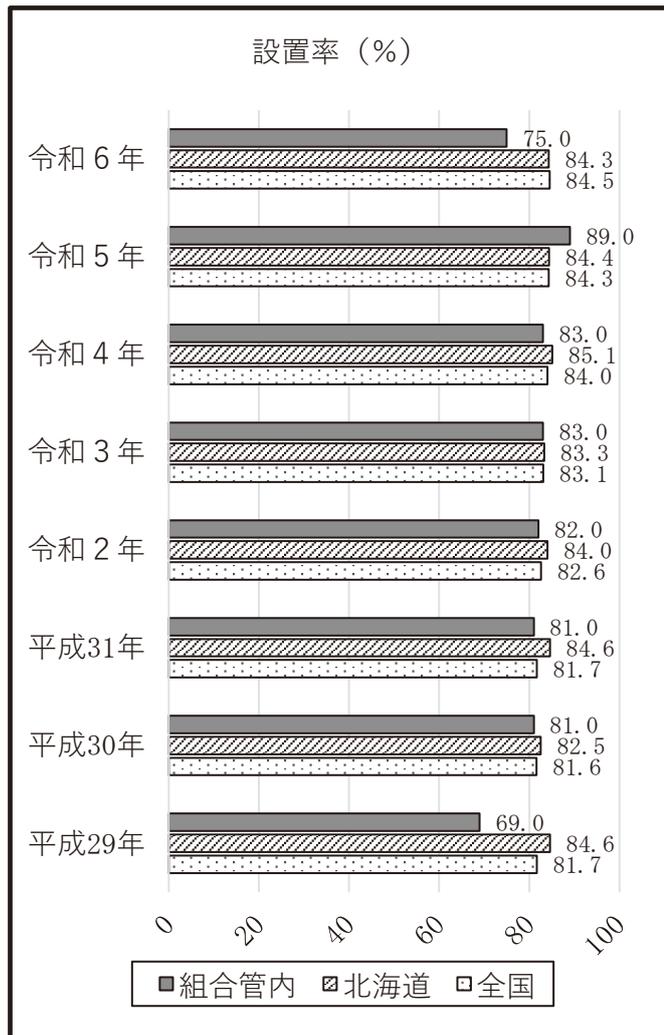
区 分	件 数	区 分	件 数
許 可 取 止 届 出 書		特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所 内 部 点 検 時 期 延 長 届 出 書	
譲 渡 引 渡 届 出 書	3	地 下 貯 蔵 タ ン ク 等 の 在 庫 の 管 理 及 び 危 険 物 の 漏 え い 時 の 措 置 に 関 す る 計 画 届 出 書	
品 名 、 数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届 出 書	3	各 種 申 請 取 下 届 出 書	
廃 止 届 出 書	9	変 更 工 事 ( 軽 微 ) 届 出 書	42
危 険 物 保 安 統 括 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届 出 書		火 気 使 用 工 事 届 出 書	2
危 険 物 保 安 監 督 者 選 任 ( 解 任 ) 届 出 書	13	使 用 休 止 ( 再 開 ) 届 出 書	5
危 険 物 取 扱 者 選 任 ( 解 任 ) 届 出 書	29	名 称 等 変 更 届 出 書	24
特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所 内 部 点 検 期 間 延 長 届 出 書		災 害 発 生 届 出 書	5

### 住宅用火災警報器の普及状況

令和6年6月1日現在

(単位：%)

区 分	設 置 率	条例適合率
組 合 管 内	75.0	69.0
北 海 道	84.3	66.0
全 国	84.5	66.2



### 住宅用火災警報器設置届出状況

各年1月1日～12月31日

(単位：件)

市町別	令和5年			令和4年		
	既存住宅	新築住宅	合 計	既存住宅	新築住宅	合 計
岩 見 沢 市	6	19	25	95	19	114
月 形 町		3				0
合 計	6	22	25	95	19	114

事業所等での消防訓練等の実施状況

各年1月1日～12月31日

市町別	種 別	令和5年		令和4年		令和3年	
		実施数(回)	参加数(人)	実施数(回)	参加数(人)	実施数(回)	参加数(人)
岩見沢市	消防訓練	515	22,518	641	22,535	487	15,419
	うち消防立会	210	14,633	185	13,026	65	4,133
	その他の訓練	104	4,744	102	2,929	47	2,471
	消防署見学	21	650	17	599	21	429
	消防車写生会	5	202	4	148	1	47
月形町	消防訓練	92	3,685	80	2,955	59	2,962
	うち消防立会	31	1,106	26	898	25	602
	その他の訓練	30	1,214	30	769	17	751
	消防署見学						
	消防車写生会						
合 計		767	33,013	874	29,935	632	22,079

1. 消防訓練 消防法施行令第3条の2第2項で定める、消火、通報及び避難の訓練
2. その他の訓練 防火講話、DVD視聴、スモークマシンによる煙体験
3. 消防署見学 幼稚園・保育園園児、小中学校児童、生徒による消防署の施設見学
4. 消防車写生会 小学校に出向いての写生会

防火対象物定期点検及び防災管理点検の報告状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件)

	対象物数	適 合		不 適 合	未 報 告
		毎年報告	特例認定		
防火対象物点検報告	124	44	8	22	50
うち特定1階段	11	2	1		8
防災管理点検報告	5		2	1	2

# 救急救助編

月別の救急出動状況

令和5年1月1日～12月31日

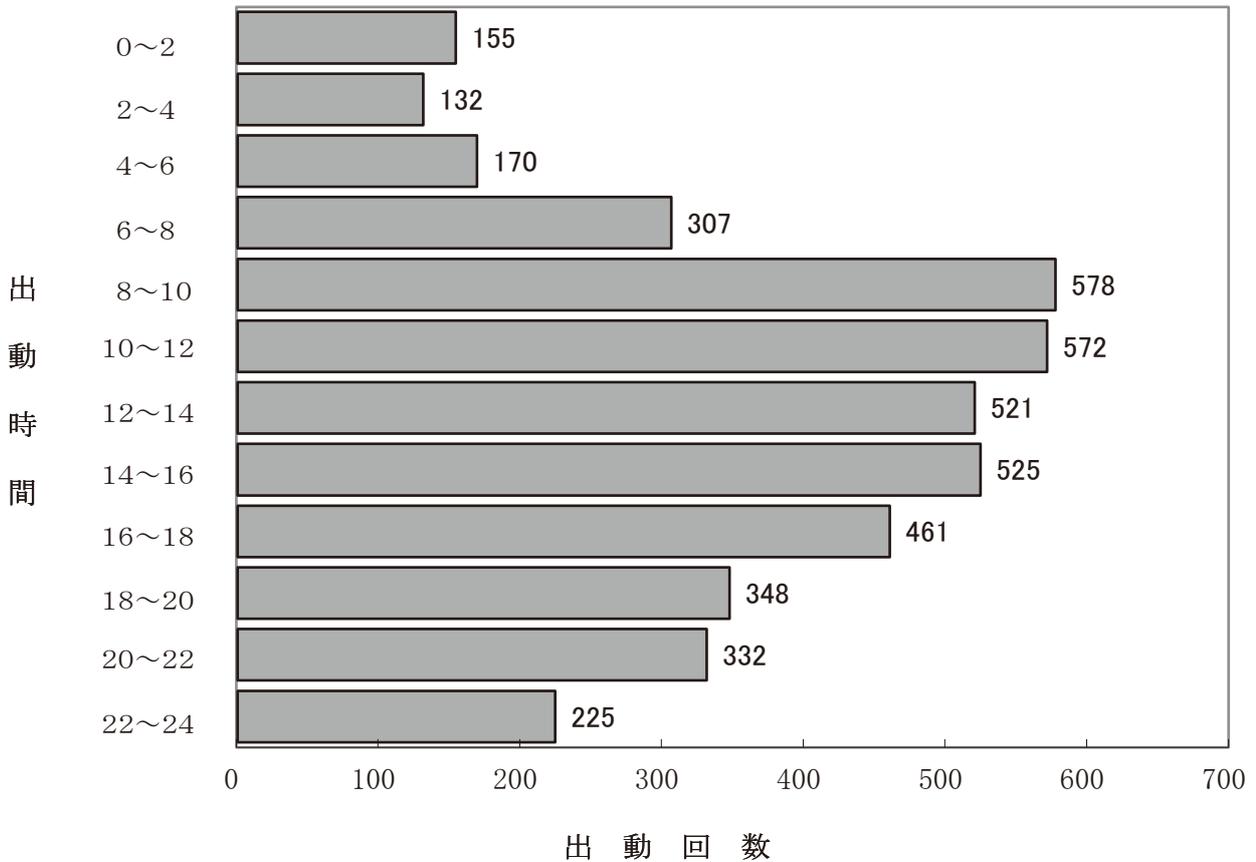
(単位：件、人)

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	不搬送	
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
1月	出動件数	5			18	3		82			234	58			21	79	421	67
	搬送人員	1			17	3		77			201	58				58	357	-
2月	出動件数	4			12	2	1	57		3	194	33			10	43	316	57
	搬送人員				9	2	1	49		2	164	33				33	260	-
3月	出動件数	8			13	2	2	56	1	4	203	57			7	64	353	48
	搬送人員				12	2	2	48	1	3	182	57				57	307	-
4月	出動件数	4		1	16	3		45	1	4	176	32			1	33	283	45
	搬送人員				14	3		43		4	144	32				32	240	-
5月	出動件数	6		1	13	2	2	44		9	201	40			2	42	320	43
	搬送人員	1			14	2	2	43		6	172	40				40	280	-
6月	出動件数	3			14	3	1	43	1	1	213	40			7	47	326	31
	搬送人員				17	3	1	43	1	1	194	39				39	299	-
7月	出動件数	3			15	4	4	37	1	2	257	56			7	63	386	44
	搬送人員				14	4	4	32	1	1	231	56				56	343	-
8月	出動件数	7			22	10	1	55		4	316	53			7	60	475	66
	搬送人員	1			24	10	1	49		2	275	53				53	415	-
9月	出動件数	6			16	2	2	40	1	2	225	48			8	56	350	57
	搬送人員				11	2	2	38		1	192	47				47	293	-
10月	出動件数	5			19	2	1	48	1	3	212	44			6	50	341	53
	搬送人員				17	2	1	44		2	181	44				44	291	-
11月	出動件数	7			15	6		49		5	230	50			2	52	364	67
	搬送人員	1			13	6		38		1	191	50				50	300	-
12月	出動件数	3			18	7		56	2	2	250	45			8	53	391	68
	搬送人員				15	6		51	2	2	205	45				45	326	-
合計	出動件数	61		2	191	46	14	612	8	39	2,711	556			86	642	4,326	646
	搬送人員	4			177	45	14	555	5	25	2,332	554				554	3,711	-

出動 1日平均 11.85 件 (2時間1分に1件)  
搬送 1日平均 10.17 人

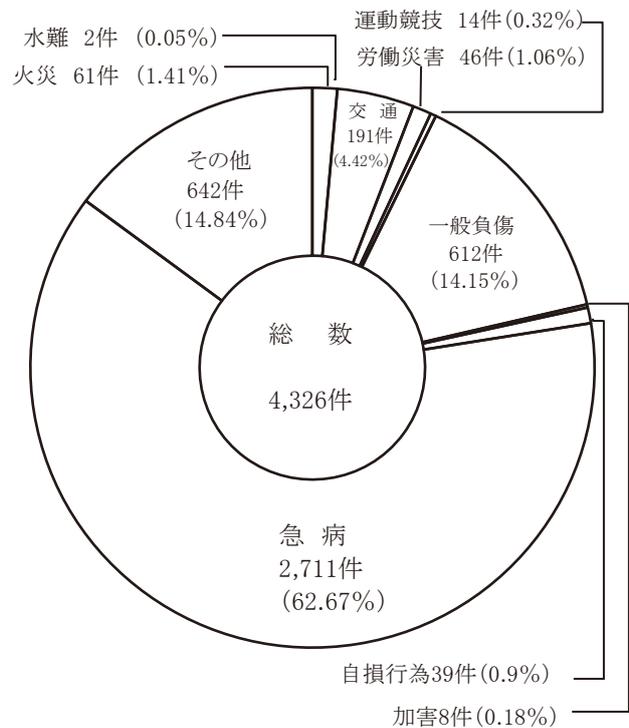
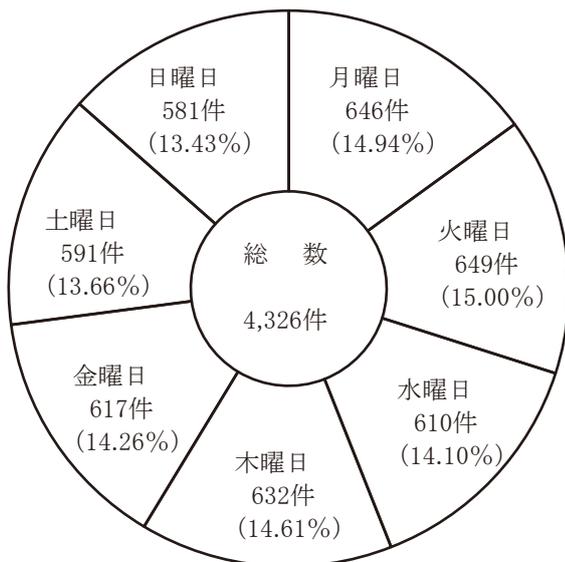
### 時間別救急出動件数

(単位：件)



### 曜日別救急出動件数

### 事故種別救急出動割合



※各表 令和5年1月1日～令和5年12月31日

出動場所別救急出動状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別 出動場所別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	不搬送	
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
岩見沢	出動件数	57		1	171	40	12	588	8	36	2,602	535			84	619	4,134	621
	搬送人員	4			156	40	12	532	5	22	2,235	533				533	3,539	-
月形	出動件数	3		1	18	6	2	24		3	104	21			2	23	184	22
	搬送人員				19	5	2	23		3	93	21				21	166	-
その他	出動件数	1			2						5						8	3
	搬送人員				2						4						6	-
合計	出動件数	61		2	191	46	14	612	8	39	2,711	556			86	642	4,326	646
	搬送人員	4			177	45	14	555	5	25	2,332	554				554	3,711	-

過去5年間の救急出動推移

各年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別 年別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	不搬送	
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
令和元年	出動件数	25			199	38	23	488	6	33	2,546	549			43	592	3,950	355
	搬送人員	1			181	37	22	455	3	19	2,344	549				549	3,611	-
令和2年	出動件数	34		2	184	35	14	479	16	32	2,261	526			48	574	3,631	351
	搬送人員	6			176	35	14	454	11	17	2,075	524			1	525	3,313	-
令和3年	出動件数	72		1	176	26	8	501	7	42	2,386	562			103	665	3,884	496
	搬送人員	6			164	26	8	464	4	30	2,146	561				561	3,409	-
令和4年	出動件数	64		2	185	38	10	621	6	31	2,375	513			74	587	3,919	548
	搬送人員	9			151	37	10	567	5	21	2,076	510				510	3,386	-
令和5年	出動件数	61		2	191	46	14	612	8	39	2,711	556			86	642	4,326	646
	搬送人員	4			177	45	14	555	5	25	2,332	554				554	3,711	-

## 傷病程度別の搬送人員状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：人)

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				1	2		16		7	85	3	114
重 症	1			18	4		143	2	3	397	199	767
中 等 症	1			15	9	3	96	1	7	735	280	1,147
軽 症	2			143	30	11	300	2	8	1,115	72	1,683
そ の 他												
合 計	4			177	45	14	555	5	25	2,332	554	3,711

傷病程度 初診時における医師の診断(救急業務実施基準第20条第2項の医師の所見)に基づき次により分類する。

1. 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
2. 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
3. 中等症 傷病程度が入院を要するもので重症に至らないもの
4. 軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
5. その他 医師の診断がないもの、及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

## 年齢区別の搬送人員状況

令和5年1月1日～12月31日

(単位：人)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児							1				4	5
乳 幼 児				4			13			81	10	108
少 年				18	1	4	23		3	53	7	109
成 人	3			92	37	10	90	2	17	474	118	843
高 齢 者	1			63	7		428	3	5	1,724	415	2,646
合 計	4			177	45	14	555	5	25	2,332	554	3,711

年齢区分

1. 新生児 生後28日未満の者
2. 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
3. 少年 満7歳以上満18歳未満の者
4. 成人 満18歳以上満65歳未満の者
5. 高齢者 満65歳以上の者

救急隊員が行った応急処置件数

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸入	保温	被覆
						うち自動		うち自動			
急病	2,331	27	40	2	1		82	4	554	12	14
交通	176	29	65						13	2	37
一般負傷	554	120	164				17		40	7	120
その他	647	22	56	2			11	1	175	11	21
合計	3,708	198	325	4	1		110	5	782	32	192

事故種別	応急処置	気道確保				在宅療法継続			ショックパンツによる 血圧保持	除細動
		※1	※2	※3	※4気管挿管	※A	※B	※C		
急病	94	2	1	54	1	2			2	8
交通	1									
一般負傷	13	1	2	9	4					1
その他	12		1	7		1			1	
合計	120	3	4	70	5	3			3	9

事故種別	応急処置	その他の 応急処置	静脈路確保		薬剤投与		血圧 測定	聴診器に よる聴取	血中酸素飽 和度の測定	心電図	血糖測定	合計
			CPA前	CPA後	アドレナリン	ブドウ糖投与						
急病	3	11	34	33	6	2,212	494	2,269	776	120	6,794	
交通		2				174	44	175	26	1	569	
一般負傷	2	2	7	6		527	42	537	56	7	1,668	
その他		2	6	5		626	73	635	169		1,827	
合計	5	17	47	44	6	3,539	653	3,616	1,027	128	10,858	

1. 止血 直接圧迫、止血帯、包帯等による止血処置
2. 固定 副子等による固定又は安静保持
3. 人工呼吸 口対口又は器具等による人工呼吸
4. 胸骨圧迫 胸骨圧迫心マッサージ
5. 心肺蘇生 心肺蘇生法
6. 酸素吸入 酸素吸入器による酸素吸入
7. 保温 傷病者の状況から保温を保持する必要がある場合に行う保温処置
8. 気道確保 気道の確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
  - ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
  - ※2 喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去
  - ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
  - ※4 救急救命士法に基づき気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
9. 被覆 創傷をガーゼ等で被覆する創面保護
10. 在宅療法継続 在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置
  - ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
  - ※B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
  - ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの
11. ショックパンツによる血圧保持 ショックパンツを使用した血圧保持の処置
12. 除細動 重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器(AED含む)による除細動
13. 静脈路確保 CPA前～救急救命士法に基づき心肺機能停止前に行う静脈路確保のための輸液  
CPA後～救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、薬剤を用いた静脈路確保のための輸液
14. その他の応急処置 1から13以外の応急処置
15. 血圧測定 血圧計を使用しての血圧測定
16. 聴診器による心音・呼吸音等の聴取 聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
17. 血中酸素飽和度の測定 血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
18. 心電図 心電計を使用しての心電図の測定
19. 薬剤投与 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンの投与
20. ブドウ糖投与 低血糖傷病者へのブドウ糖溶液の投与
21. 血糖測定 救急救命士法に基づき救急救命士が行なった血糖測定

## 急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況

令和5年1月1日～12月31日

分類項目別	循環系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚器系	泌尿器系	新生物	その他	症徴診不	合計
	脳疾患	心疾患等									
搬送人員 (人)	174	252	199	265	82	118	129	91	499	523	2,332
構成比 (%)	7.5	10.8	8.5	11.4	3.5	5.1	5.5	3.9	21.4	22.4	100.0

1. 急病に係る疾病分類とは、事故種別の急病については初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD)により分類したものである。
2. 「脳疾患」とは、脳血管疾患をいう。
3. 「新生物」とは、胃の悪性新生物、白血病等その他の悪性新生物及びその他の新生物をいう。
4. 「症徴診不」(症状・徴候・診断名不明確の状態)とは、腹痛、頭痛、失神、めまい等の疾病をいう。
5. 「その他」とは、上記の循環系から新生物までに分類された以外の疾病分類の全てである。

## 救助事故種別出動件数

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件)

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
岩見沢市	2	1	19	1		2	72			43	140
月形町			1	2			2			2	7
その他の 市町村			1								1
合計	2	1	21	3		2	74			45	148

## 救助活動件数・救出人員数調

令和5年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
活動件数	2	1	7	1		2	26			8	47
救出人員	2	1	10	1		2	27			8	51

1. 火災とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
2. 交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
3. 水難事故とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
4. 風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
5. 機械による事故とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
6. 建物等による事故とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
7. ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
8. 破裂事故とは、火災現場において直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
9. その他の事故とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

## 救急講習会の実施状況

各年1月1日～12月31日

区 分		年 別		
		令和5年	令和4年	令和3年
一 般 講 習	回 数	50 回	16 回	10 回
	受講者数	797 人	250 人	229 人
普通救命講習	回 数	45 回	13 回	16 回
	受講者数	572 人	167 人	214 人
救命入門コース	回 数	回	2 回	回
	受講者数	人	15 人	人
普及員講習	回 数	回	3 回	回
	受講者数	人	22 人	人
合 計	回 数	95 回	34 回	26 回
	受講者数	1,369 人	454 人	443 人

1. 一 般 講 習 応急手当等の基礎的な知識を習得させる講習。
2. 普通救命講習 AEDを含めある程度専門的な技術を習得させる講習で、受講者には「修了証」を交付。
3. 救命入門コース 胸骨圧迫及びAEDの取扱いを習得させる応急手当の導入講習。
4. 普及員講習 事業所、団体、地域等で応急手当の指導・普及に当たるものを養成する講習。

### □救急業務の高度化の流れ

- 平成15年4月 … 「救急救命士法」の改正→「指示なし除細動」の実施が可能となる。
- 平成16年5月 … 救急救命士による”包括的指示下”での「除細動実施」の運用開始。
- 平成16年7月 … 医師の指示を受けて救急救命士による「気管挿管」の実施が可能となる。  
市民の「AED(自動体外式除細動器)」の使用が可能となる。
- 平成17年5月 … 市民に対して「AED講習」の開始。
- 平成18年4月 … 医師の指示を受けて救急救命士による「薬剤投与」の実施が可能となる。
- 平成21年3月 … 「エピペン(自己注射が可能なエピネフリン製剤 別名アドレナリン)」の投与が可能となる。
- 平成23年8月 … 「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管」の実施が可能となる。
- 平成26年4月 … 「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液」の実施が可能となる。  
「血糖測定」並びに「低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与」が可能となる。

# 通信編

## 消防無線のデジタル化運用について

平成15年10月	総務省令「電波法関係審査基準」の一部改正 消防救急無線は「平成28年5月31日までに」デジタル化しなければならない。 (※→平成23年6月1日以降の免許更新は許可されない。)
平成17年7月	消防庁次長通知「消防救急無線の広域化・共同化及び共同運用の推進について」 ・基本的には都道府県を一つのブロックとして整備。 ・指令センターは都道府県単位が望ましい。 ・前記に基づき、都道府県は市町村や消防本部との協議のうえ平成18年度までに「整備計画」を策定すること。
平成18年5月	「北海道消防救急無線広域化等策定委員会・協議会」を設置 北海道における「整備計画」を平成19年度末までに策定予定で設置。
平成19年1月	北海道の「整備計画」(案)における道内の区域割りの提案 ※道内を7ブロック化(岩見沢は札幌を含む石狩・空知・後志支庁管内で構成。)
平成20年5月	総務省告示第291号 アナログの使用期限については電波法関係審査基準により平成28年5月31日までと規定されていたが、共通仕様書が策定されるなどデジタル化の整備環境が整ってきたこと等から、法律(電波法第26条)に基づき、周波数割当計画(告示)を改正し、アナログの使用期限を正式に平成28年5月31日までと規定。
平成20年7月	「北海道消防救急無線広域化・共用化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画」の策定
平成21年8月	「北海道消防救急無線広域化・共用化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画」の見直し
平成22年3月	通信指令室指令装置の更新 運用開始(指令装置費用26,000千円) ※機能…デジタル化対応、消防広域対応、地図検索装置整備 地図検索装置概略 ※119番入電時通報者の位置が、モニター地図画面に表示される装置 (ゼンリン地図上にNTTデータを利用し表示) ※表示的中率は、おおむね・・・ ・一般加入電話～9割以上 ・携帯電話～GPS機能付～数メートル以内 ・携帯電話～GPS機能無～数十キロ以内
平成22年4月	通信規程の運用について 警防規程運用開始 ※平成18年3月15日施行の通信規程を、警防規程運用に伴い、市町村合併後の問題点、消防広域化、当組合月形町通信一元化を総合的に検討した結果、通信規程の全部を改正し、平成22年11月1日より運用している。
平成22年5月	「道央地区消防救急無線共同整備等実施計画」の策定
平成22年8月	空知ブロック消防救急デジタル無線整備費用低減化検討会議設置
平成22年9月	南空知第1回ワーキンググループ会議
平成22年11月	南空知第1回ワーキンググループ会議 (道危機対策課、空知総合振興局、消防)
平成23年7月	南空知第1回ワーキンググループ担当国会議 (道危機対策課、空知総合振興局、市町村財務担当者、消防)
平成24年3月	空知ブロック消防救急デジタル無線整備費用低減化検討会議

平成24年10月	<p>通信業務の一元化業務開始</p> <p>当組合月形町との通信一元化により既に実施している緊急通報システムの受報業務の他に119番受報業務、災害出動等指令業務を、平成24年10月1日より実施している。</p>
平成25年 4月	消防救急デジタル無線整備に係る実施計画委託業務着手
平成26年 1月	実施計画委託業務成果品受領
平成28年 4月	消防救急デジタル無線整備運用開始
平成29年 9月	<p>高機能消防指令センター運用開始（整備費用291,600千円）</p> <p>※通信指令システム概要</p> <p>消防救急デジタル無線設備と接続連携し、出動車両運用管理装置と連動することにより、的確な出動指令と効率的な事案活動を行うための各種支援情報を提供し消防力の最大発揮を図ることができる高機能化したシステム。</p> <p>※装置概要</p> <p>指令台…下記装置と連動・連携し、通報受付、出動指令、無線交信等総合的に消防通信を行う装置。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動出動指定装置～出動指令、出動隊編成等システムの自動化機能を制御する装置。</li> <li>・地図等検索装置～災害発生場所の地図等の検索が容易にかつ迅速にできるようにする装置。</li> <li>・支援情報表示装置～指令管制業務に必要な各種情報を上記二つの装置と連携し有効に表示することができる装置。</li> <li>・出動車両運用管理装置～管理装置（親局装置）及び車両設置の車両運用端末装置（AVM）から構成され、車両動態・車両位置情報等を伝送し自動出動指定装置等に反映させるもの。</li> </ul>

## Net119・メール119登録状況

令和6年4月1日現在  
(単位：人)

種別 \ 市町別	岩見沢市	月形町	合計	備考
Net119	16		16	
メール119	2		2	

## 119番受報数の現況

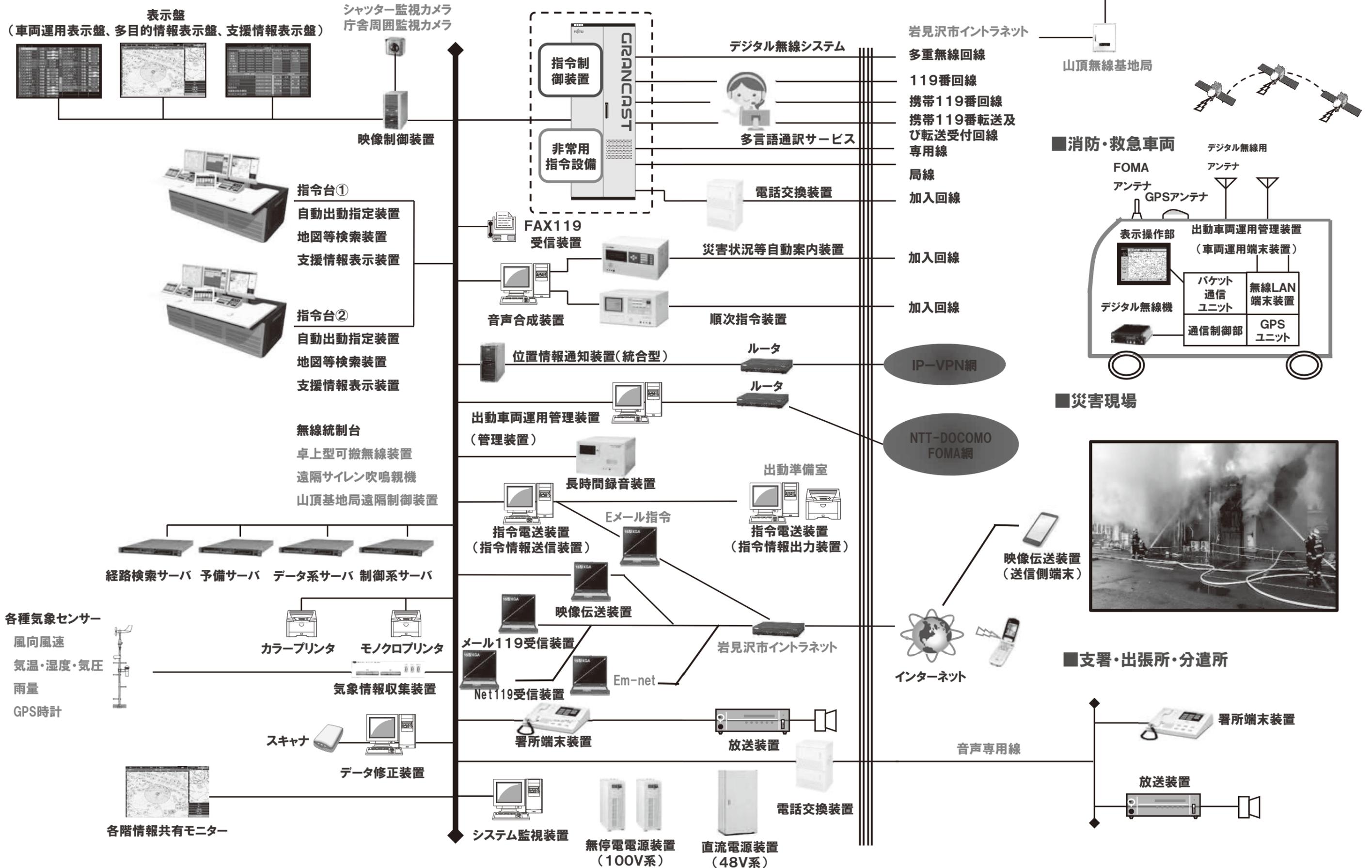
令和5年1月1日～12月31日

(単位：件)

種 別	市町別		合 計
	岩見沢市	月形町	
火 災	45		45
うち携帯	31		31
救 急	3,193	104	3,297
うち携帯	1,534	46	1,580
救 助	44		44
うち携帯	23		23
警 戒	37	1	38
うち携帯	28	1	29
その他	60	6	66
うち携帯	33		33
合 計	3,379	111	3,490
うち携帯	1,649	47	1,696
【令和4年】	3,052	95	3,147
うち携帯	1,400	31	1,431
出動に該当しない受信			958
試験、通報			591
問合せ			140
間違い、悪戯、無言			227

※加入電話・駆け付け・消防無線・Net119・メール119等の通報は除く。

# 消防通信指令システム系統図





# 消防年報 2024

令和 6 年 10 月

編集・発刊

岩見沢地区消防事務組合

<https://iwamizawa119.jp>

## 消防本部・岩見沢消防署

〒068-0008 北海道岩見沢市 8 条東 10 丁目 2 番地 47

消防本部 総務課 TEL 0126-22-4300

〃 〃 FAX 0126-25-1048

〃 警防課 TEL 0126-22-4302

〃 予防課 TEL 0126-22-4301

岩見沢署 消防課 TEL 0126-22-4380

FAX 0126-22-7446

## 栗沢支署

〒068-0123 北海道岩見沢市栗沢町東本町 19 番地

TEL 0126-45-2009

FAX 0126-45-2839

## 北支署

〒068-1213 北海道岩見沢市北村赤川 586 番地 2

TEL 0126-56-2007

FAX 0126-56-2107

## 月形支署

〒061-0500 北海道樺戸郡月形町 1047 番地 13

TEL 0126-53-2154

FAX 0126-53-2396

<https://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/2633.htm>